

# 上士幌町ふるさと会まちづくりアンケート結果

平成23年1月

上士幌町

## もくじ

1	調査実施の方法	1
2	調査結果の概要	3
3	回答者について	12
4	設問別調査結果	16
	【問1】上士幌町の印象	16
	【問2】上士幌町の将来像	25
	【問3】将来の定住意向	28
	【問4】上士幌町をアピールしていくうえで効果的だと思うこと	29
	【問5】まちづくりへの意見、提案	32
5	調査票	38

## 1 調査実施の方法

このアンケートは、「第5期上士幌町総合計画」を策定するうえで、上士幌町にゆかりのあるふるさと会のみなさんとホームページを通じて回答を頂いた町外のみなさんから、本町に対する評価や意見、提案などを把握し、計画に反映するために実施したものです。

調査の実施方法などについては、次のとおりです。

対 象	①上士幌町ふるさと会に所属している会員（帯広会、札幌会、東京会） ②町ホームページに設置したアンケートに、インターネット経由で回答を頂いた方（町外に住んでいる方）
調査期間	平成22年7～9月
調査方法	①郵送にて配布、回収 ②インターネットを通じて回収
回収状況	配布数 656 票 回収数 188 票（うち、インターネット経由で回答頂いた方は8票） 回収率 28.7%

### 集計・表記方法

- ・比較や順位付けは、回答数ではなく、回答率で行っています。そのため、「多い・少ない」ではなく「高い・低い」の言葉を用いています。
- ・集計は「性別」「年齢」「所属」「出生地」の“属性別”ですべて行っていますが、この報告書では、全体数以外でのグラフ表示や説明は、特に差がみられる箇所のみ、掲載・記載しています。
- ・集計結果は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを百分率(%)で表示しています。そのため、選択肢から1つだけ選択する設問では、すべての選択肢を合計しても100.0%にならないことがあります。
- ・属性別の集計結果からは「属性の無回答者」を除いて表示しているため、各設問の属性の合計が総数と異なる場合があります。
- ・本文やグラフ中の選択肢は、調査票の言葉が長いため、短縮しているものがあります。
- ・自由記述回答は、回答者の実際の記述事項を整理・要約して掲載しています。同じ内容についてはまとめ、回答数を（ ）で示しています。

### 調査の実施機関

企画・編集：上士幌町 企画財政課

集計・分析：株式会社 日本コンサルタントグループ

属性別の回収数

属性区分		回収数		
性別	男性	117		
	女性	58		
	無回答	13		
年齢	29歳以下	1	(40代以下 <sup>※2</sup> )	10 <sup>※2</sup>
	30歳代	4		
	40歳代	5		
	50歳代 (50代 <sup>※1</sup> )	38		
	60歳代 (60代 <sup>※1</sup> )	72		
	70歳以上	66		
	無回答	2		
所属	帯広会	30		
	札幌会	47		
	東京会	87		
	無回答	24		
出生地	上士幌町 (町内 <sup>※3</sup> )	113		
	上士幌町以外 (町外 <sup>※3</sup> )	60		
	無回答	15		

※1 「年齢」については、アンケート票では「29歳以下」「30歳代」「40歳代」「50歳代」「60歳代」「70歳以上」という選択肢で尋ねていますが、報告書の中では、50歳代を「50代」、60歳代を「60代」と表記しています。

※2 「29歳以下」「30歳代」「40歳代」の回収数が少なかったため、報告書の中では、3つの年齢区分を合計して再集計し、「40代以下」と表記しています。

※3 「出生地」については、アンケート票では「上士幌町」「上士幌町以外」と表記していますが、報告書の中では、「町内」「町外」と表記しています。

## 2 調査結果の概要

### 【問1】上士幌町の印象

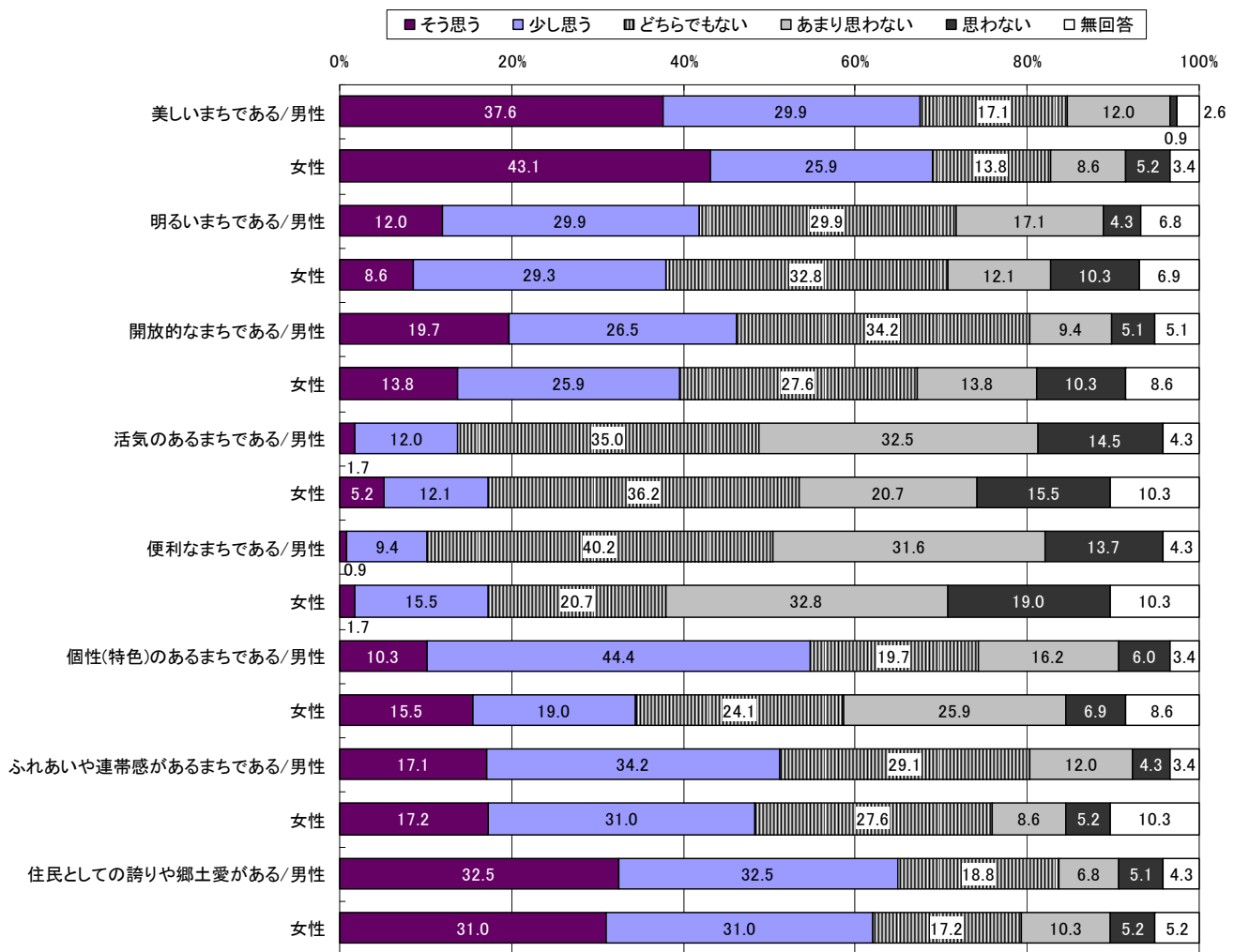
「美しいまちである」「住民としての誇りや郷土愛がある」は、それぞれ約3分の1が「そう思う」と回答し、肯定的な意見が高くなっています。

また、「個性（特色）のあるまちである」「ふれあいや連帯感があるまちである」は「少し思う」がそれぞれ約3分の1を占めています。

一方、「明るいまちである」「開放的なまちである」「活気のあるまちである」「便利なまちである」は「どちらでもない」がそれぞれ約3分の1を占めています。このうち、「活気のあるまちである」「便利なまちである」は「あまり思わない」「思わない」が高くなっています。

美しさや住民の誇りや郷土愛には肯定的ですが、活気や便利さには、否定的です。

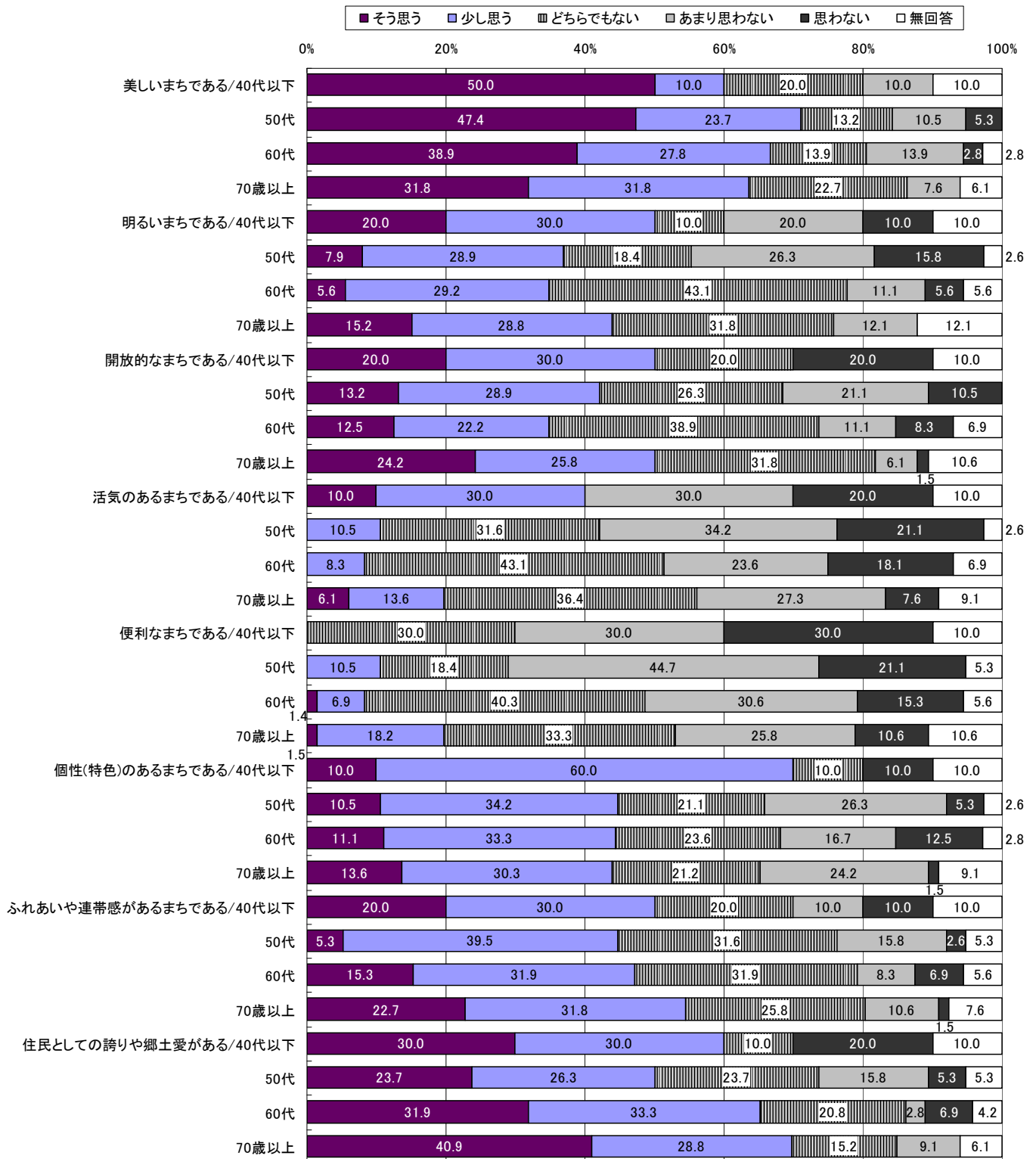
性別にみると、「思わない」はすべての項目で女性の方が高くなっています。また、肯定的な意見と否定的な意見の割合が男女で最も異なるのは「個性（特色）のあるまちである」です。



全体的に、女性の方が「思わない」の回答率が高く、男性より否定的です。

個性（特色）については、男性の方が「少し思う」の回答率がかなり高く、男女の意向の差が特にみられます。

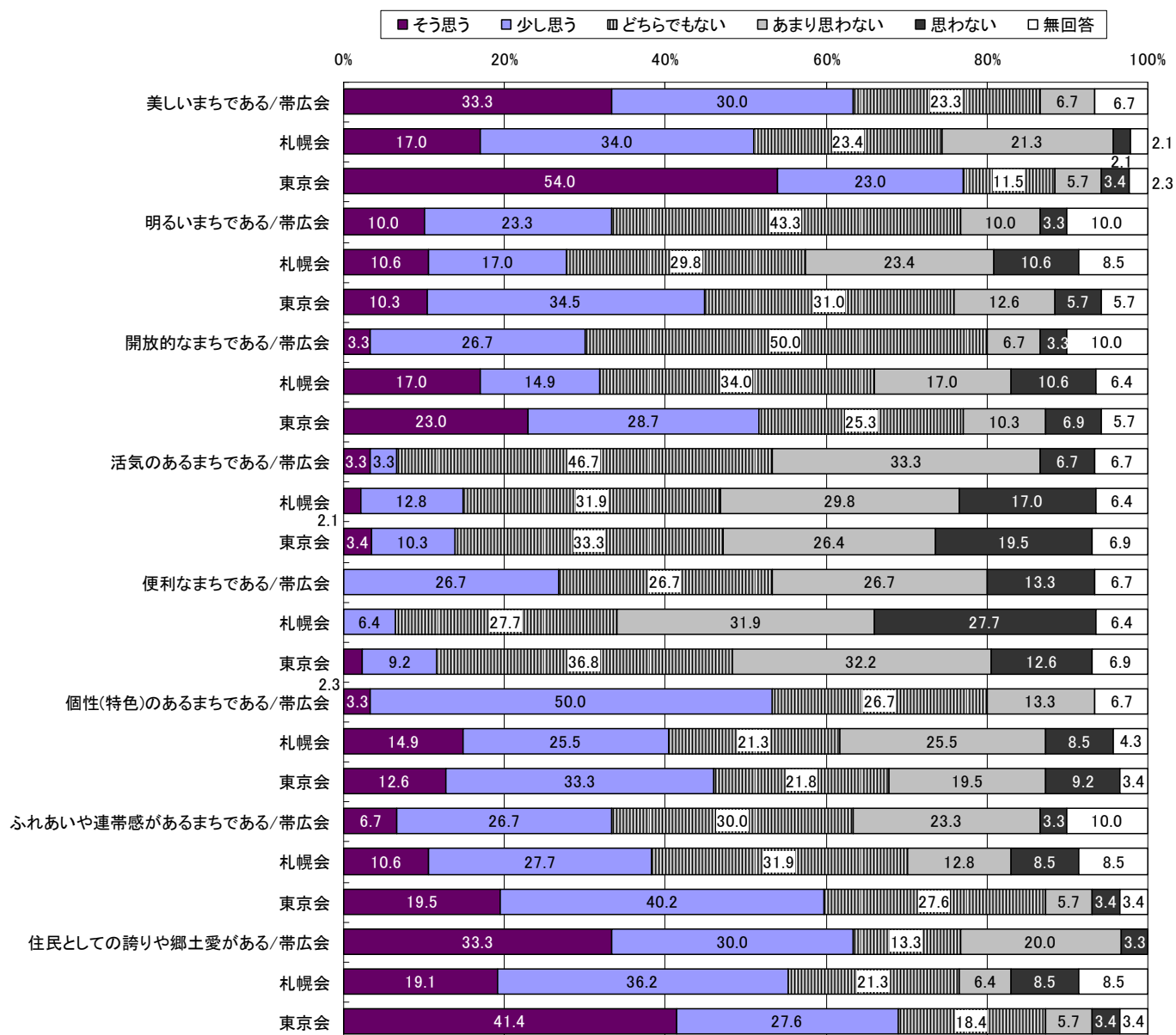
年齢別にみると、「美しいまちである」は年齢が低いほど「そう思う」の回答率が高くなっています。また「個性(特色)のあるまちである」は40代以下で「少し思う」の回答率が他に比べて特に高くなっています。



美しさについては、年齢が低いほど、肯定的です。

個性(特色)については、40代以下で「少し思う」の回答率が他の年齢より高く、差がみられます。

所属別にみると、「美しいまちである」「住民としての誇りや郷土愛がある」は東京会で「そう思う」の回答率が高くなっています。

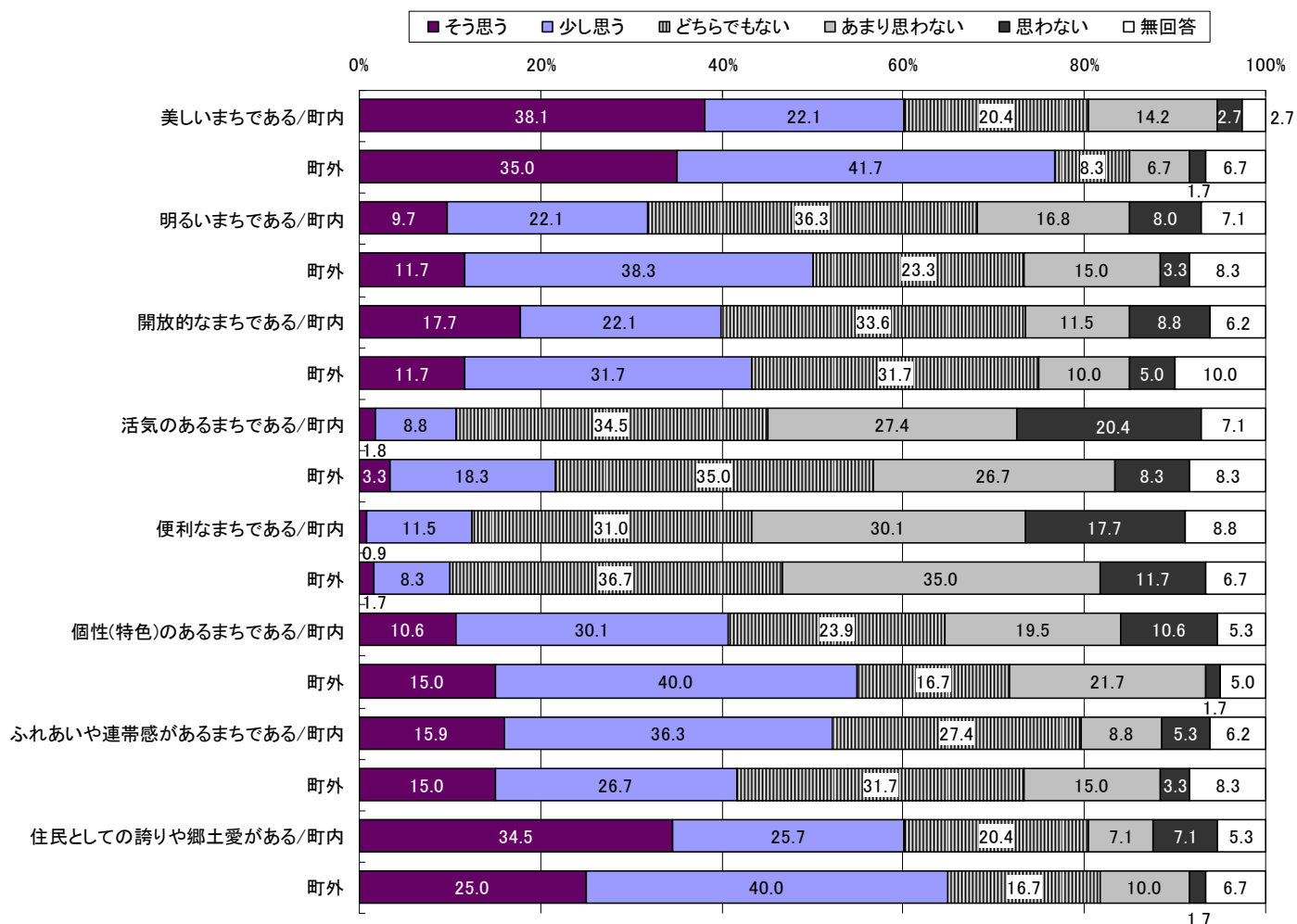


美しさや住民の誇りや郷土愛については、東京会で「そう思う」の回答率が他に比べて高く、肯定的です。

(全体に占める東京会の割合が高いため、全体でも、美しさや住民の誇りや郷土愛には肯定的です。)

出生地別にみると、「便利なまちである」「ふれあいや連帯感があるまちである」以外は、町外の方が肯定的な回答が高くなっています。特に、「美しいまちである」「明るいまちである」は町外で「少し思う」の回答率が高くなっています。

一方、「住民としての誇りや郷土愛がある」は、町内の「そう思う」の回答率が町外に比べて高くなっています。



便利さ、ふれあいや連帯感については町内、その他については、町外の方が肯定的です。  
 美しさ、明るさ、個性（特色）については、町外の方が「少し思う」の回答率が高く、町内との意向の差が特にみられます。



## 【問2】上士幌町の将来像

町の将来像として、「美しい自然環境に包まれたまち」(40.4%)が最も高く、「健康で安心して暮らせるまち(保健・福祉の充実したまち)」(34.0%)と「多くの人を訪れる観光・交流のまち」(33.5%)が僅差で続きます。

まちづくり住民アンケートでは、「健康で安心して暮らせるまち」「農林業や商工業に活力があるまち」「日常生活が便利で快適なまち」の順であり、差がみられます。

性別にみると、男性は「美しい自然環境に包まれたまち」、女性は「健康で安心して暮らせるまち」を第1位にあげています。

年齢別にみると、50代と60代は「美しい自然環境に包まれたまち」、70歳以上は「健康で安心して暮らせるまち」を第1位にあげています。40代以下は、「美しい自然環境に包まれたまち」「子どもたちが心身ともに健やかに成長することのできる教育のまち」「農林業や商工業に活力があるまち」の3つが同率第1位で、回答が分散しています。

所属別にみると、帯広会は「多くの人を訪れる観光・交流のまち」、札幌会は「農林業や商工業に活力があるまち」、東京会は「美しい自然環境に包まれたまち」を第1位にあげています。東京会は【問1】でも「美しいまちである」の回答率が高く、自然の美しさが印象的であり今後もそのようにあり続けてほしいという意向が表れています。

まちづくり住民アンケートの結果と比較すると、ふるさと会は「美しい自然環境に包まれたまち」「多くの人を訪れる観光・交流のまち」を求める声が高くなっています。

東京会は、【問1】と同様、美しい自然を評価しており、「美しい自然環境に包まれたまち」を望む声が高くなっています。

## 【問3】将来の定住意向

「帰りたいが難しいと思う」が54.3%と最も高く、「帰りたいと思ったことはない」(26.1%)が続きます。

性別にみると、「是非帰りたいと考えている」「できれば帰りたいと考えている」ともに男性の方が高くなっています。

年齢別にみると、「是非帰りたいと考えている」は40代以下で高くなっています。

所属別にみると、「是非帰りたいと考えている」「できれば帰りたいと考えている」は東京会で高くなっています。

なお、出生地別にみると、「是非帰りたいと考えている」は町外の方が町内よりやや高くなっています。

将来、上士幌町に帰りたいと思いつつ現状では難しい人が半数を占めます。

性別では男性、年齢では40代以下で帰りたいと考えている意向は高くなっています。

町内・町外で将来の定住意向に差はなく、どちらかと言えば、町外の方がやや高いです。

【問4】上士幌町をアピールしていくうえで効果的だと思うこと

町のアピールに効果的だと思うことについては、自然環境や温泉といった天然の資源を活用する意見が多くみられます。また、基幹産業である農業や、そこから生み出される特産品を活用する意見もあります。特産品については、今あるもののほか、開発を行っていくことに期待する意見がめだちます。そのほか、観光資源である熱気球や上士幌町的生活環境の良さを活用する意見があります。

効果的な方法としては、メディアでの宣伝や旅行会社のツアーや企画を通じてアピールする方法に関する意見が多くみられます。また、インターネットの活用や町外でのPR活動、イベントを通じたPR、広域での連携、ふるさと会の協力に関する意見もみられます。

また、ソフト的な方法のほか、施設の整備や誘致を進める意見も多くみられます。

そのほか、景観の整備や教育の町となること、また、移住や二地域居住、人材育成などを進めることでアピールにつなげていくことなどに関する意見もみられます。

自然や温泉などの天然の資源、農業や特産品などの産業資源の活用が求められています。  
メディアや旅行会社などを通じたPRの推進、PR機能の強化といったソフト的な取り組みと、施設の整備や誘致といったハード的な取り組みが求められています。

【問5】まちづくりへの意見、提案

区分ごとに回答数が多かった項目をみると、「観光」「産業経済全般」「特産品」「農業」などがあります。

区分	回答数	主な記述の内容
自然環境	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何にしても自然は壊さないでほしい。</li> <li>・ 三股方面は本当にすばらしい所、多くの人に見てもらいたい。</li> <li>・ ナイタイ高原牧場やぬかびら源泉郷スキー場の上から見る景色は絶景。</li> </ul>
公営住宅	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公営住宅の建て替えとバリアフリー化が必要。</li> <li>・ 公住の古さに閉口した。公住のリフォームが必要。</li> </ul>
交通の便	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何より交通の便を考える。</li> <li>・ 観光客が訪れやすい交通を含む利便性が必要。改善が望まれる。</li> <li>・ 交通に不便を感じる。不便を感じると観光客は来ないのでは。</li> <li>・ ひとりで旅行するにも動きづらい。まずはアクセスをしっかりしてほしい。</li> <li>・ 交通網が充実すれば、本州の感覚だと音更、帯広は通勤圏になる。</li> </ul>
まちなみ	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 欧州では電柱、電線は地上にはない。</li> <li>・ 街の中を流れる川があったらどうか。清潔感が増し生活感も変わると思う。</li> <li>・ 花や緑で街全体をデコレートする。建物も新築・改築は一定のルールを置き、長期計画で街の雰囲気住民の総意で決める理想の街にしていく。</li> </ul>
子育て支援	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生までの医療費を無料に。</li> <li>・ 子育てをしている若い世代に魅力のあるまち。教育の充実や特色、保育の負担軽減など様々な支援策が目に見えてわかるように。</li> <li>・ 子どもに焦点を当てた安心安全なまちづくり。</li> </ul>

区分	回答数	主な記述の内容
教育	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習のまちづくりに注力してはどうか。</li> <li>・維持費を教育へまわし、教育で何か日本一をめざす。</li> <li>・教育の町として「意欲・創意・思いやりの心」を育てる。</li> <li>・小・中・高の一貫教育を。</li> <li>・中高一貫の全寮制の進学校またはユニークな学科をつくる。</li> <li>・小・中・(高)の給食の無料化。</li> </ul>
スポーツ	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボウリング場の設置。</li> <li>・健康づくりのためのプールを作る。</li> </ul>
福祉	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤ちゃんから老人まで、保育所から介護施設まで、一つの建物の中で生活できるところを。</li> <li>・お年寄りを商店街まで送迎するバス。(無料でなくても。)</li> <li>・十勝で一番熱心と聞いた。何が一番誇れる町なのかを考えてほしい。</li> </ul>
農業	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温暖化を見据え、長期的な新苗育成、東北地方の作物の導入。</li> <li>・農業・酪農などの希望者を支援する体制を作る。</li> <li>・学校・企業・商店などで地元の牛乳を消費できないか。</li> <li>・農家という生産者の感覚でなく、企業としてのビジネス感覚をもち、他社の製品より売れる高付加価値商品を作るという重要性に気付くこと。</li> <li>・農畜産物の付加価値を高めてブランド化するとともに、新しい販路として直売所が繁盛すれば農産品の輸出に弾みがつく。野菜や果実、畜産品の一部、米も視野に入ってくる。</li> <li>・後継者の計画的育成、特にその配偶者の獲得に、各ふるさと会の組織的な支援体制を確立する。</li> </ul>
林業	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林業のまちづくりで、町民の生活向上に役立つ産業が必要。</li> <li>・しいたけ作りなど、きのこ作りに適した気候ではないか。</li> </ul>
商業	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活気ある店がない。</li> <li>・商店街活性化のためには、日曜定休は良くない。</li> <li>・上士幌の町で買い物した人々のためのポイント制。(2倍・3倍も設定。)</li> </ul>
観光	34	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの自然環境をPRする。</li> <li>・ナイタイ高原牧場を活かす。</li> <li>・ぬかびら源泉郷の温泉の利用法、活用を考える。</li> <li>・観光客の視点で、観光資源の整備を進める。</li> <li>・クラス会をぬかびら源泉郷で受け入れる。年輩の方の交通手段がないばかりにみんな十勝川につれて行かれるのは残念。</li> <li>・アーチ橋群は最高の観光資源だが地図を見て探しても探せない。素人が探せるよう、案内板や道の整備を。</li> <li>・観光地と農業の結びつきを深める。</li> <li>・少しの土産付きとか、食べ物のおいしさ、自然と3つ位そろそろコース。</li> <li>・一泊や食事、体験ができるスポットを充実し、通過のみの町ではなく、停車する町になる様に。</li> <li>・観光バスの経由地として、総合リゾートの様なものをつくる。</li> <li>・国立公園を指定解除し、リゾート地とする。</li> <li>・観光目的者の車中泊場所(ぬかびら源泉郷周辺)の開設。</li> <li>・割安な貸別荘などがあれば、夏は避暑、冬はスキーなどを楽しめる。</li> <li>・夕日を見るポイント、朝日がかがやくポイント。なにしろ一番がほしい。</li> <li>・田舎の良さを、田舎らしく出せばよいと思う。</li> <li>・アーチ橋群、ナイタイ高原牧場を見せてぬかびら源泉郷に泊ってもらうコース。</li> <li>・自然動物園をつくる。</li> </ul>
交流	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関東圏の中規模程度の地方自治体と姉妹提携し、小中学生を対象に、雄大な自然観光と農業・酪農に関連する課外授業を展開し、ふれあい活動を推進する。</li> </ul>
イベント	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に1度でも大きな十勝規模のイベントを。</li> <li>・個性的イベントの創設。(町と農協の共生、協同強化。)</li> <li>・春夏秋冬のイベントを。</li> <li>・マラソンやサイクリング等スポーツイベントの誘致。</li> <li>・自然を生かしたイベントや全国が注目するイベントを企画する。</li> </ul>

区分	回答数	主な記述の内容
道の駅	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぬかびら源泉郷の辺に道の駅があると、バスは停まると思われる。</li> <li>・美しい風景の場所、買いたい物産、食べたい食品と道の駅のようなものが必要。</li> <li>・ぬかびら源泉郷の閉鎖したホテルを町で取り壊し、道の駅（家族風呂と足湯温泉併設）を建設しては。</li> </ul>
特産品	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上士幌ならではの食文化を創造する。</li> <li>・飲料水の販売。</li> <li>・家庭料理のコンテスト等、食品加工のノウハウ等を集める。</li> <li>・上士幌町産の原材料で特色ある製品を考案した者に「上士幌町産業奨励賞」を。</li> <li>・上士幌市街にも何か珍しく特徴のあるものが2～3ほしい。</li> <li>・上士幌特産漬け物の販売。</li> <li>・都市への生産物展示販売の強化。</li> <li>・じゃがいもはもちろん、乳製品を生かした名産品を。</li> </ul>
産業経済全般	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場の誘致、雇用の拡大。</li> <li>・温泉を利用し南の海の魚（ウナギ、カニ、エビ）の養殖をすると話題になる。</li> <li>・町が先頭に立ちプロジェクトチームをつくり官民一体になる。</li> <li>・バイオマス発電、太陽光発電等を作るには、上士幌町が適地では。</li> <li>・上士幌町が有する豊富な資源（農地、土壌、水、森林、国立公園）を効果的に活用していく方策を見出し、戦略的に産業を育成する。</li> </ul>
行財政運営	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・死んだ金ではなく生きた金の使い道、行政に活かしてほしい。目先のことではなく、長く先の先まで、新しい文化歴史が生れるような物をつくってほしい。</li> <li>・財源が不足している中で、実行性を考慮し、余った予算のある課は翌年に繰越し、報償制度を採用する。無駄をなくす行政を。</li> </ul>
やる気	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の志気を高め、町民が安心できる町づくりに取組んでほしい。</li> <li>・もっと町民全体が、色々な面でやる気を起こしてほしい。</li> <li>・こうやろう、ああやろうと提案がないのか。あっても摘み取るのか。元気なやる気のある人はいないのか。</li> </ul>
移住、定住	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・閉鎖したホテルを、大都会の各自治体で持て余している光の当たらない部分の人を対象としたコロニー（福祉施設）に利用する。</li> <li>・ふれあいビレッジ上士幌、幼稚園、小学校、中学校と老人介護施設を一体化して、全国からその施設に入ってもらう様にする。</li> <li>・介護施設、病院を充実させ、リタイアした団塊の世代をターゲットに、第二の人生スタートの地を提供し、全国から人を呼び集める。</li> <li>・花を育て、野菜が作れる百坪程度の畑付きの断熱デザイン住宅が1,500万前後で入手できるとなると、東京や関西から移住を望む人も出てくるのでは。</li> <li>・高齢者の滞在型別荘を充実させる。</li> <li>・町営住宅だけでなく、アパートなど若い人が住みやすい住宅を。</li> </ul>
町出身者、ふるさと会	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校の同窓会、クラス会、各種団体等の親睦会の開催に協力し、町内でできるだけ開催してもらおう。</li> <li>・ふるさと会の中堅からアドバイザーを採用する。</li> <li>・上士幌を故郷とする人の人脈を生かす。</li> <li>・もっと開放的かつ活発なふるさと会の集合になる様配慮を。</li> </ul>
町の中心部に集中	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民に必要なインフラを中心部に集中化し、高齢化しても生活できるようにする。国、道に働きかけて、IT技術や資金等をもらえないか。</li> <li>・町内を活性化するため、町の中心部に住んでもらおう。</li> </ul>
まちづくり全般	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まず住み良いまちづくりを。</li> <li>・自然も生かした住みよい町となるように。</li> <li>・スポーツ、音楽、シネマ、芸術等何かのジャンルに絞って、若い発想で推進させる。</li> <li>・古きよきものは残し、若者が生きていける町にしてほしい。</li> <li>・高齢者の思考力と経験を通じた提案が上士幌町を素晴らしい町へと導くパワーになる。</li> <li>・内外の識者の意見を聞きながら、良いと思うことを少しずつ取り入れ、まちづくりの観点で長期的に取り組んでいったらどうか。</li> </ul>

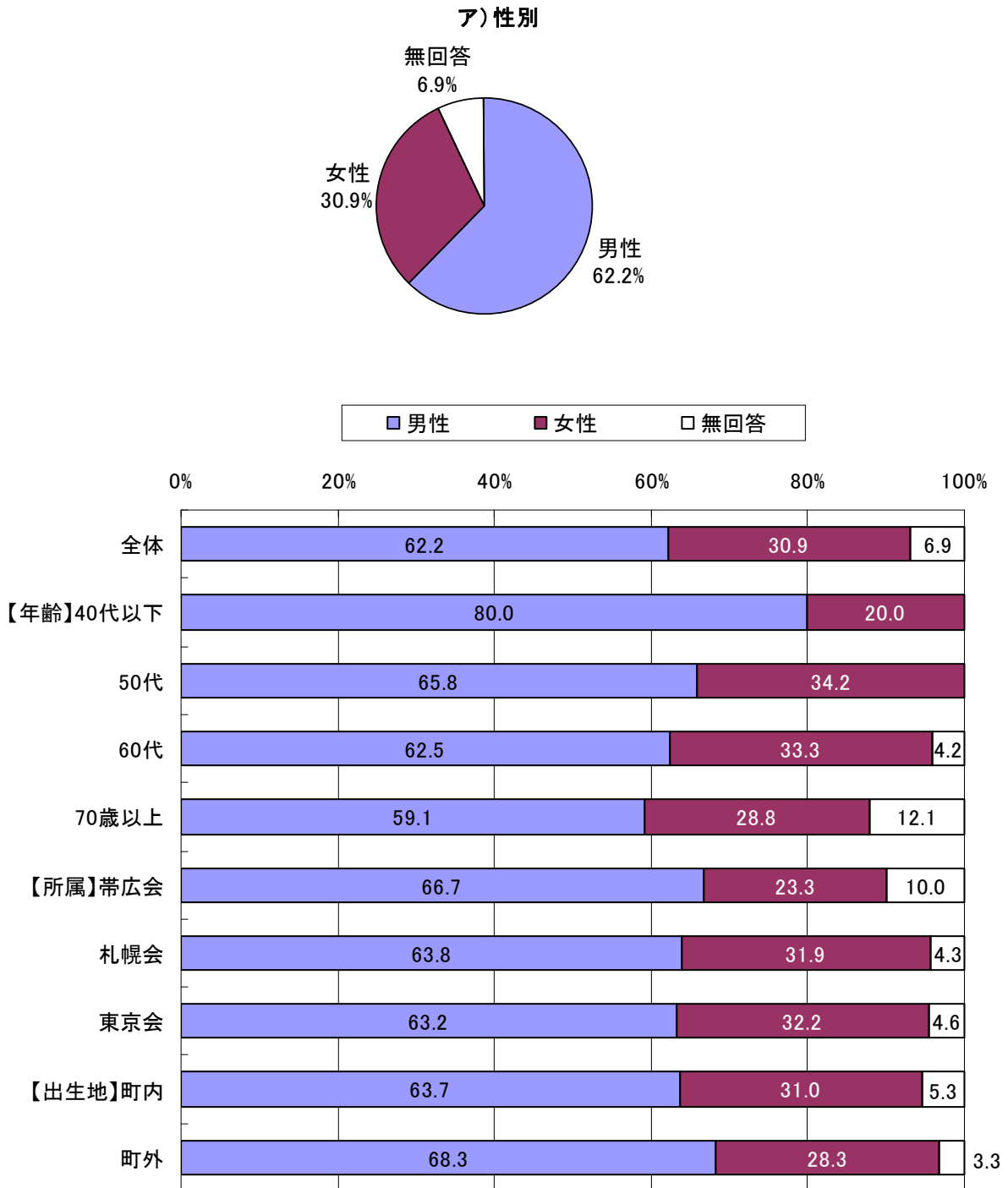
区分	回答数	主な記述の内容
その他	19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口をもう少し多くしてほしい。</li> <li>・ 思いやりのある温い町民気質と風土を培う。</li> <li>・ 上士幌の生いたちから現在まで、どこが町として魅力があったのか、もう少し原点に戻って調査した中から選び考えてみる。</li> <li>・ 長期的視野で、山村留学による町外の子どもの受け入れや福祉、介護事業等を充実する。子どもと老人が安心して暮らして、青年・中年の調和ある地域経済を。</li> <li>・ 町内全組織（団体）で、将来展望（企画会議等）について総合力を発揮する。</li> <li>・ 素晴らしい個人のガーデンを無料で見るができるよう、町を花で飾るプロモーションをしては。</li> <li>・ 上士幌の目玉（農産物、熱気球）を発掘し、全国に発信する。</li> <li>・ 町の広報活動を一層活発させ、新しい動きを積極的にPRする。</li> <li>・ 帰郷した時に、まちが変わりすぎている。特に学校は思い出の場所だが懐かしさがない。昔のかたちを残してほしい。</li> <li>・ 上士幌は車がないと生活できない。老後の生活を考えた場合は、病院がない、スーパーなどあまり品ぞろいができてないなど、生活上の不安を感じる。</li> <li>・ 元気な上士幌であってほしい。子ども育成の町、道外の引きこもりや登校拒否などでお困りの人達のお助けの町、空気も食べ物も美味しく自然もいっぱい感謝される町になってほしい。</li> <li>・ 町おこしで一番重要なのは担当者の既成概念の突破。発想の大転換を。</li> <li>・ 人口対策、上士幌町の特産品、名所のアピール、国からの補助金対策。</li> <li>・ ふるさと納税の方法等が不明。郷土のためにできることを行いたい。</li> </ul>

### 3 回答者について

はじめに、回答される方についておたずねします。あてはまる番号に○をつけてください。

#### ア) 性別

「男性」が62.2%、「女性」が30.9%で、男性の割合が高くなっています。

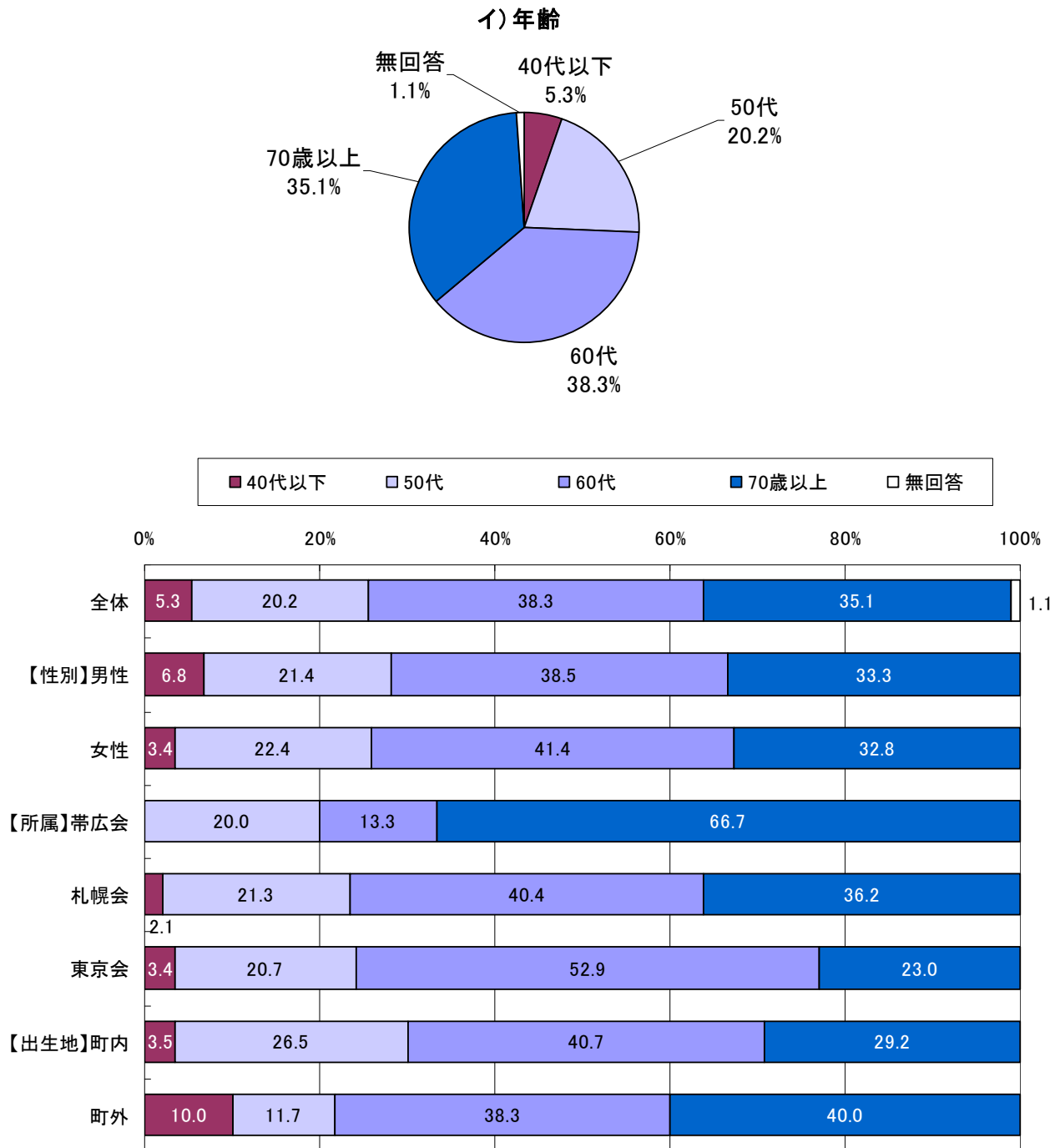


## イ) 年齢

「60代」(38.3%)が最も高く、「70歳以上」(35.1%)が僅差で続きます。「50代」は20.2%ですが、「40代以下」の割合は5.3%と僅かです。

所属別にみると、帯広会の66.7%は「70歳以上」で、「40代以下」はいません。

出生地別にみると、町外は「40代以下」と「70歳以上」が、町内より高くなっています。



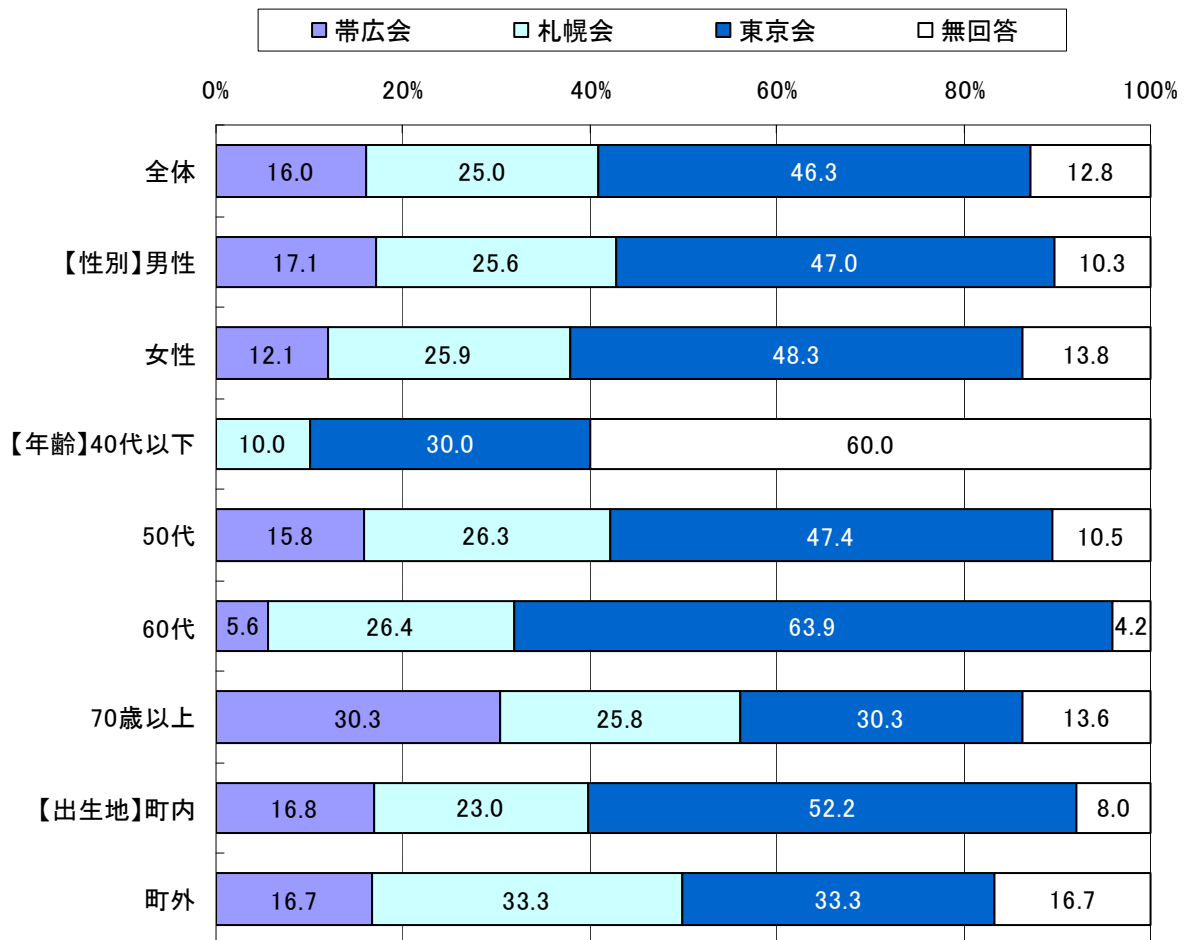
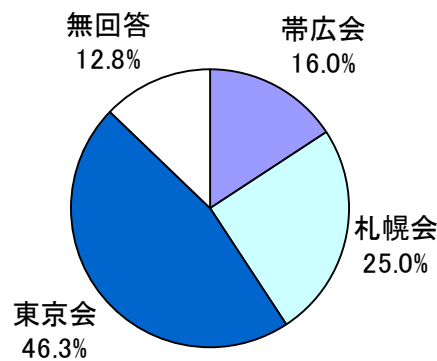


## ウ) 所属

「東京会」(46.3%)が最も高く、「札幌会」(25.0%)、「帯広会」(16.0%)の順です。  
 年齢別にみると、「東京会」は60代で63.9%を占め、年代の中で最も高くなっています。  
 また、40代以下は「帯広会」がいません。

なお、ホームページを通じて回答頂いた町外のみなさんには尋ねていないため、すべて「無回答」となっています。

ウ) 所属

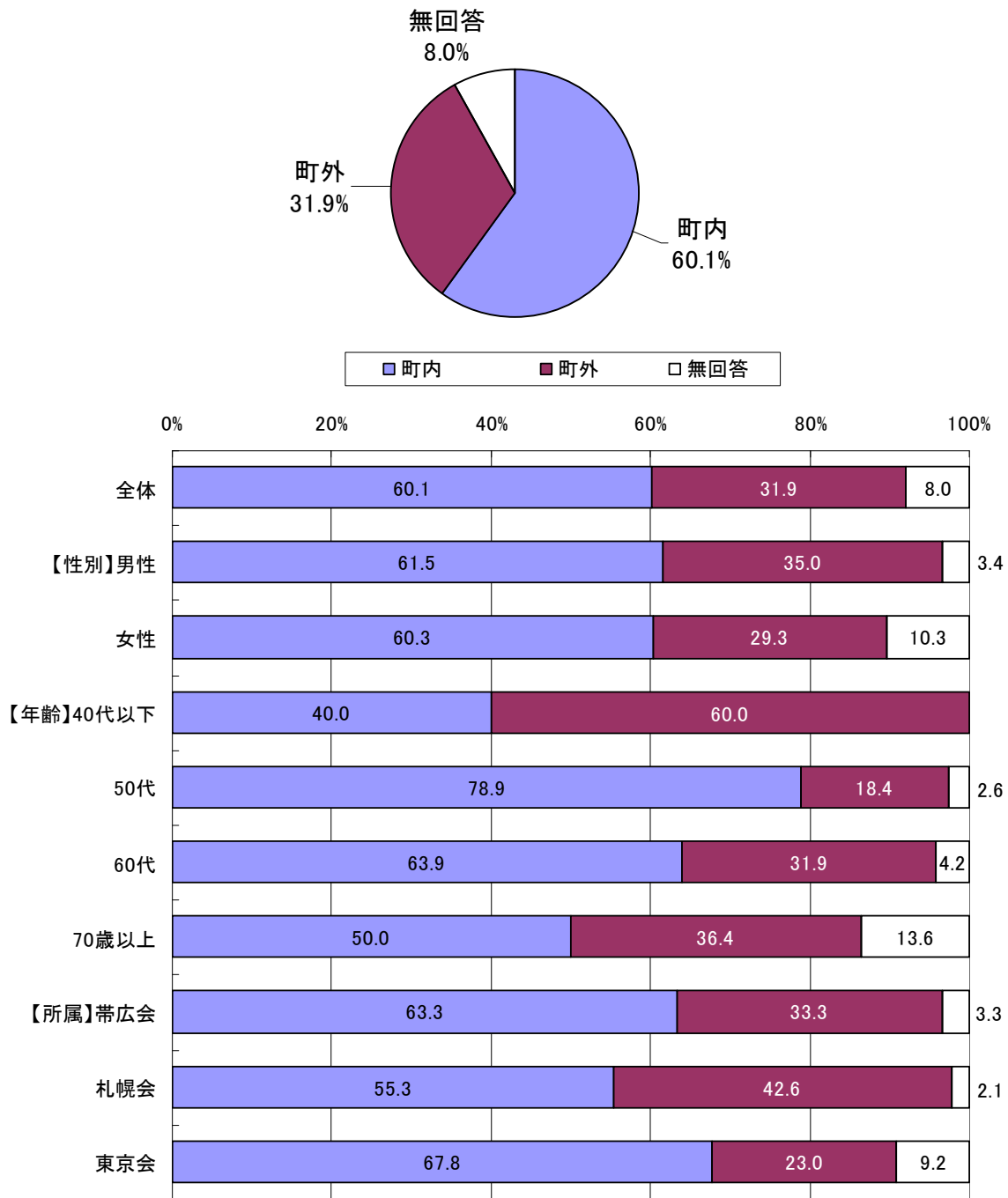




エ) 出生地

「町内」が60.1%、「町外」(31.9%)で、町内出身者が約60%を占めます。

エ) 出生地



オ) 上士幌町に訪れたことがありますか。

※ホームページを通じて回答を頂いた町外の方のみ（8名）

住んだことがある。（5名）

旅館・ホテル・キャンプ場に宿泊したことがある。（1名）

観光で訪れたことがあるが、宿泊したことはない。（2名）

## 4 設問別調査結果

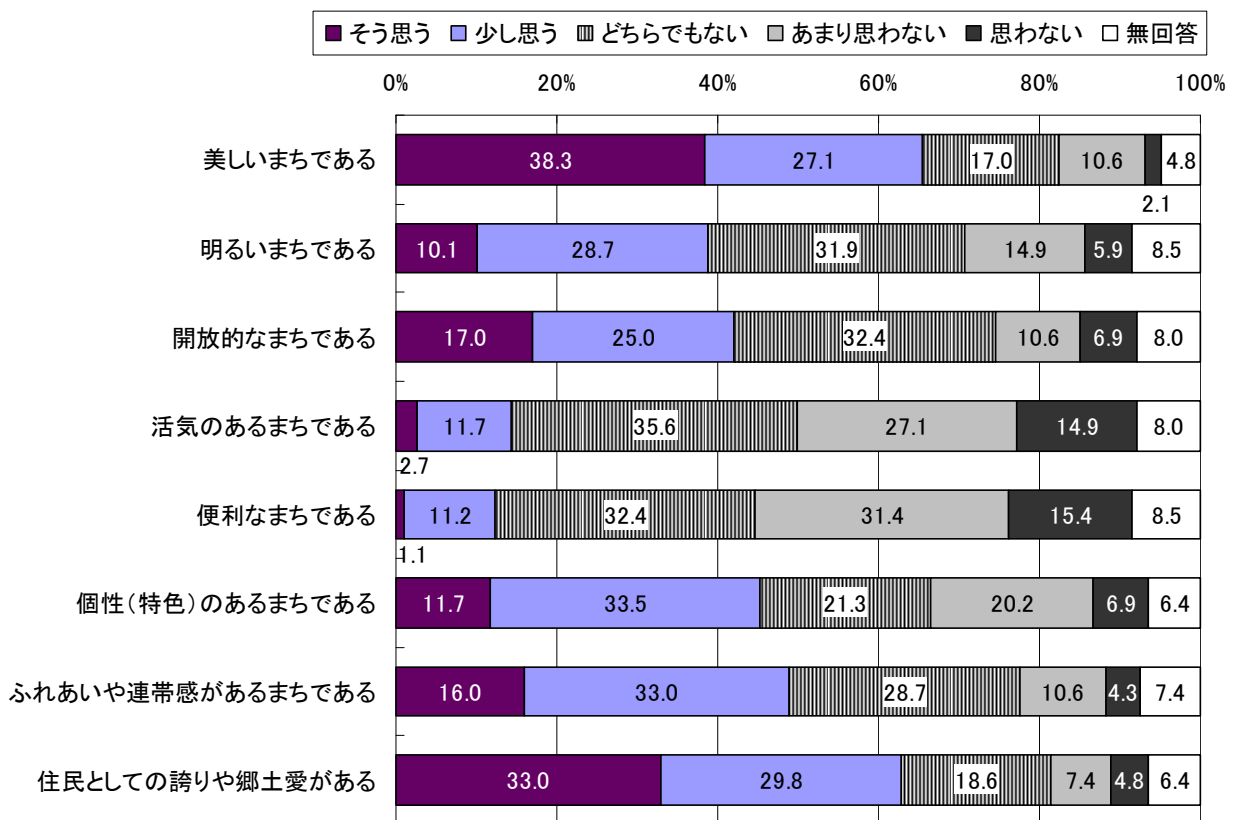
### 【問1】上士幌町の印象

上士幌町を離れてから上士幌町を見たとき、どのような印象をお持ちですか。  
1～8の項目で、それぞれあてはまるものを1つずつ選んで、番号に○をつけてください。

「そう思う」が最も高かったのは、「美しいまちである」で「住民としての誇りや郷土愛がある」が続きます。

一方、「活気のあるまちである」「便利なまちである」は「あまり思わない」「思わない」の回答率が高くなっています。

【問1】上士幌町の印象



## 1. 美しいまちである

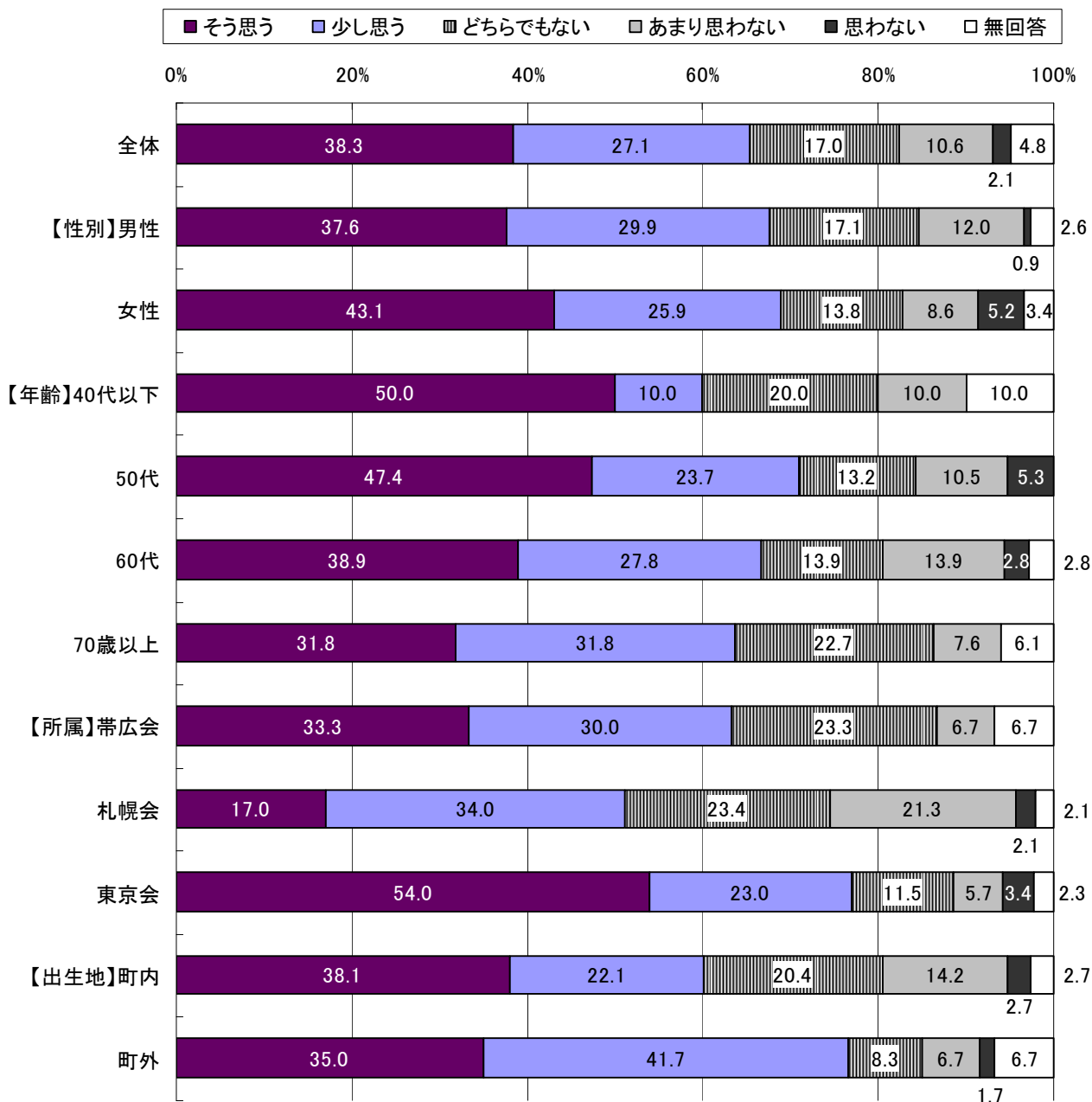
全体では「そう思う」が38.3%を占め、最も高くなっています。

年齢別にみると、「そう思う」は年齢が低いほど、回答率が高まっています。

所属別にみると、東京会は「そう思う」が54.0%と過半数を占め、高くなっています。札幌会は「あまり思わない」が21.3%を占め、高くなっています。

出生地別にみると、町外は「少し思う」が41.7%を占め、高くなっています。

### 1. 美しいまちである



## 2. 明るいまちである

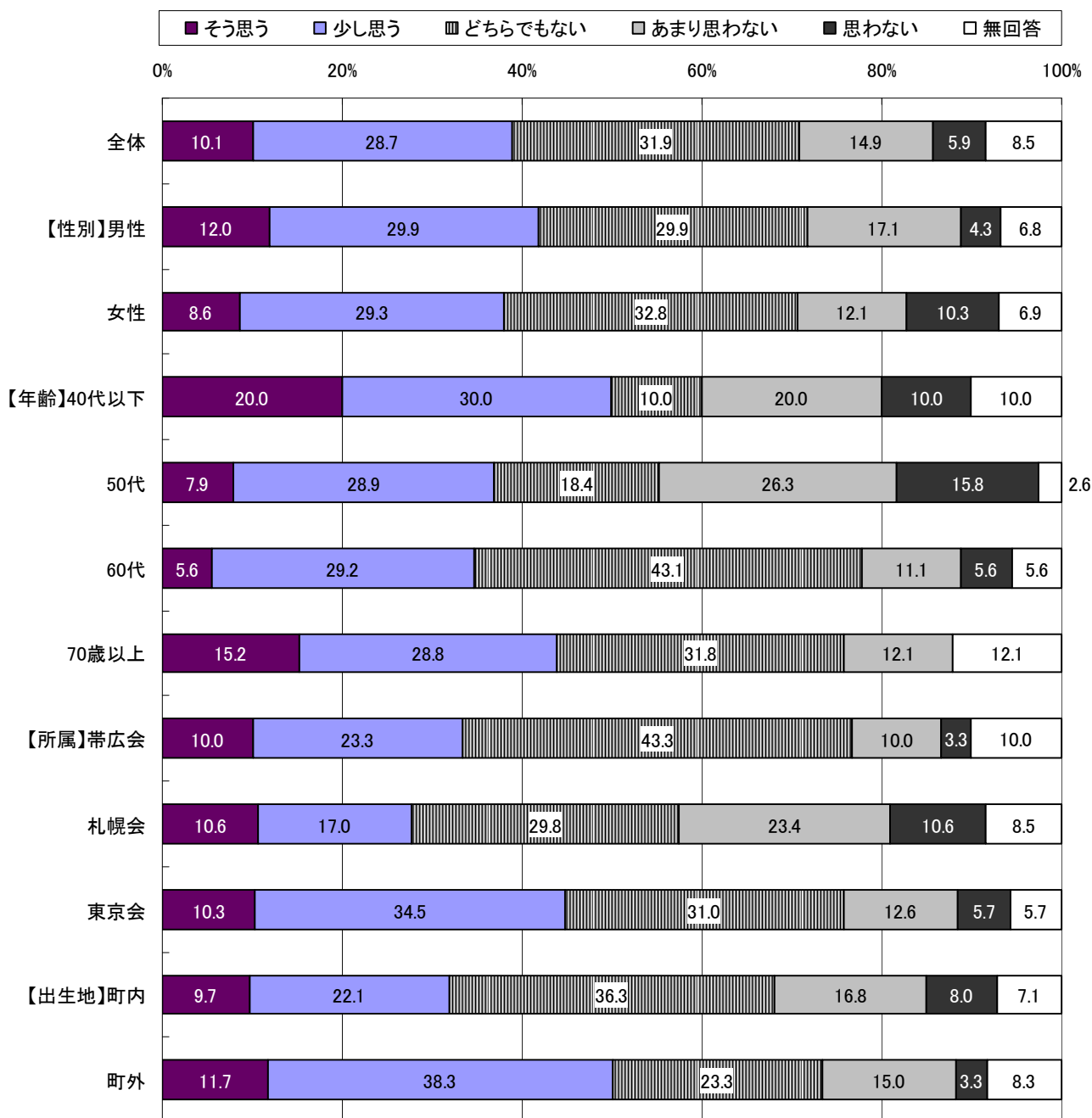
全体では「どちらでもない」が31.9%を占め、最も高くなっています。

年齢別にみると、40代以下は「そう思う」「少し思う」ともに各年齢の中で最も高くなっています。60代は「どちらでもない」が43.1%を占め、高くなっています。

所属別にみると、帯広会は「どちらでもない」が43.3%を占め、高くなっています。東京会は「少し思う」が34.5%を占め、高くなっています。

出生地別にみると、町外は「少し思う」が38.3%を占め、高くなっています。

2. 明るいまちである



### 3. 開放的なまちである

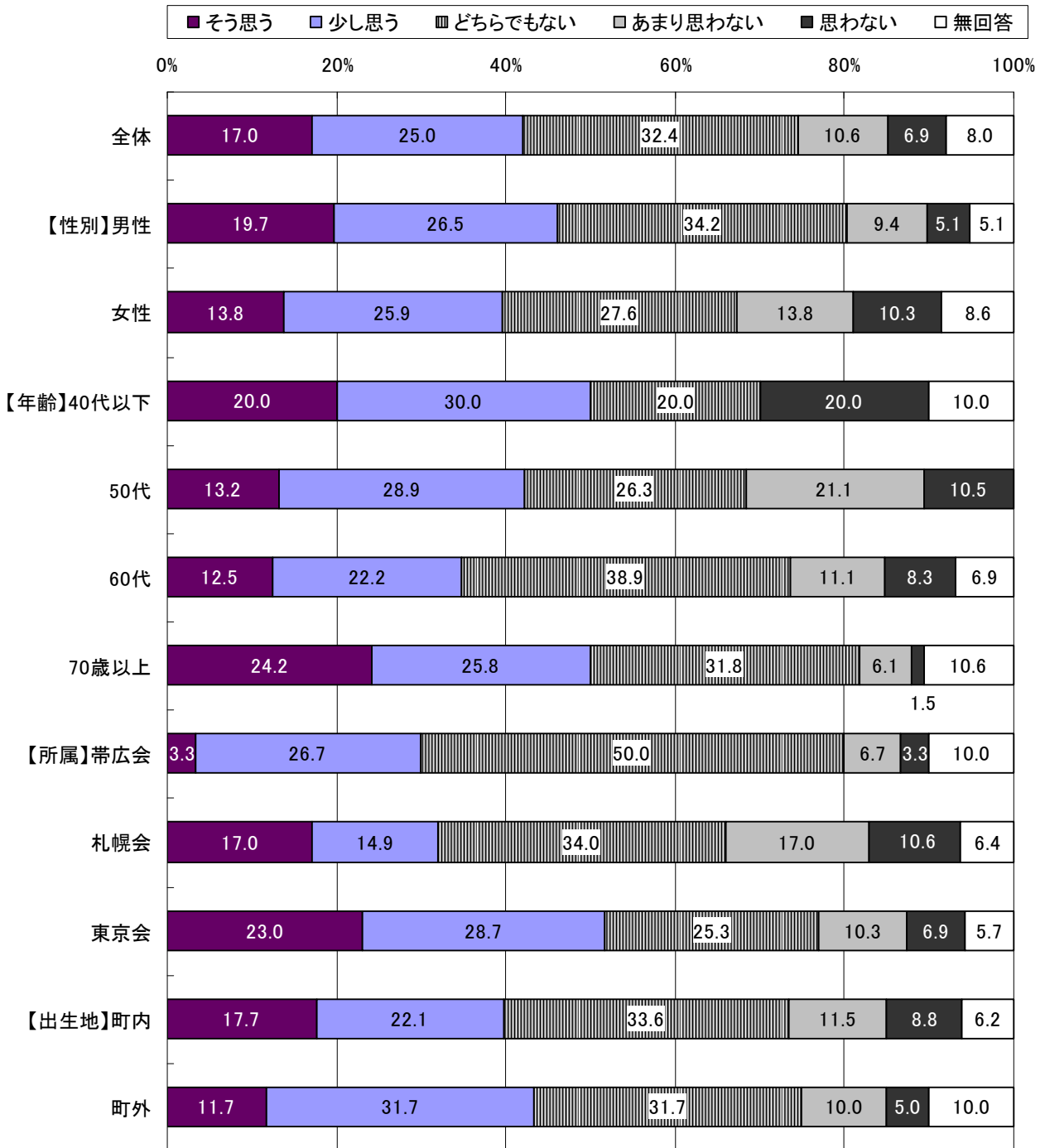
全体では「どちらでもない」が32.4%を占め、最も高くなっています。

年齢別にみると、40代以下は「思わない」が20.0%を占め、高くなっています。60代は「どちらでもない」が38.9%を占め、高くなっています。

所属別にみると、東京会は「そう思う」(23.0%)、「少し思う」(28.7%)がともに高く、他よりも肯定的です。

出生地別にみると、肯定的な回答の割合に大きな差はありませんが、町内は「そう思う」、町外は「少し思う」の割合が、それぞれ他方に比べて高くなっています。

#### 3. 開放的なまちである



#### 4. 活気のあるまちである

全体では「どちらでもない」が35.6%を占め、最も高くなっています。

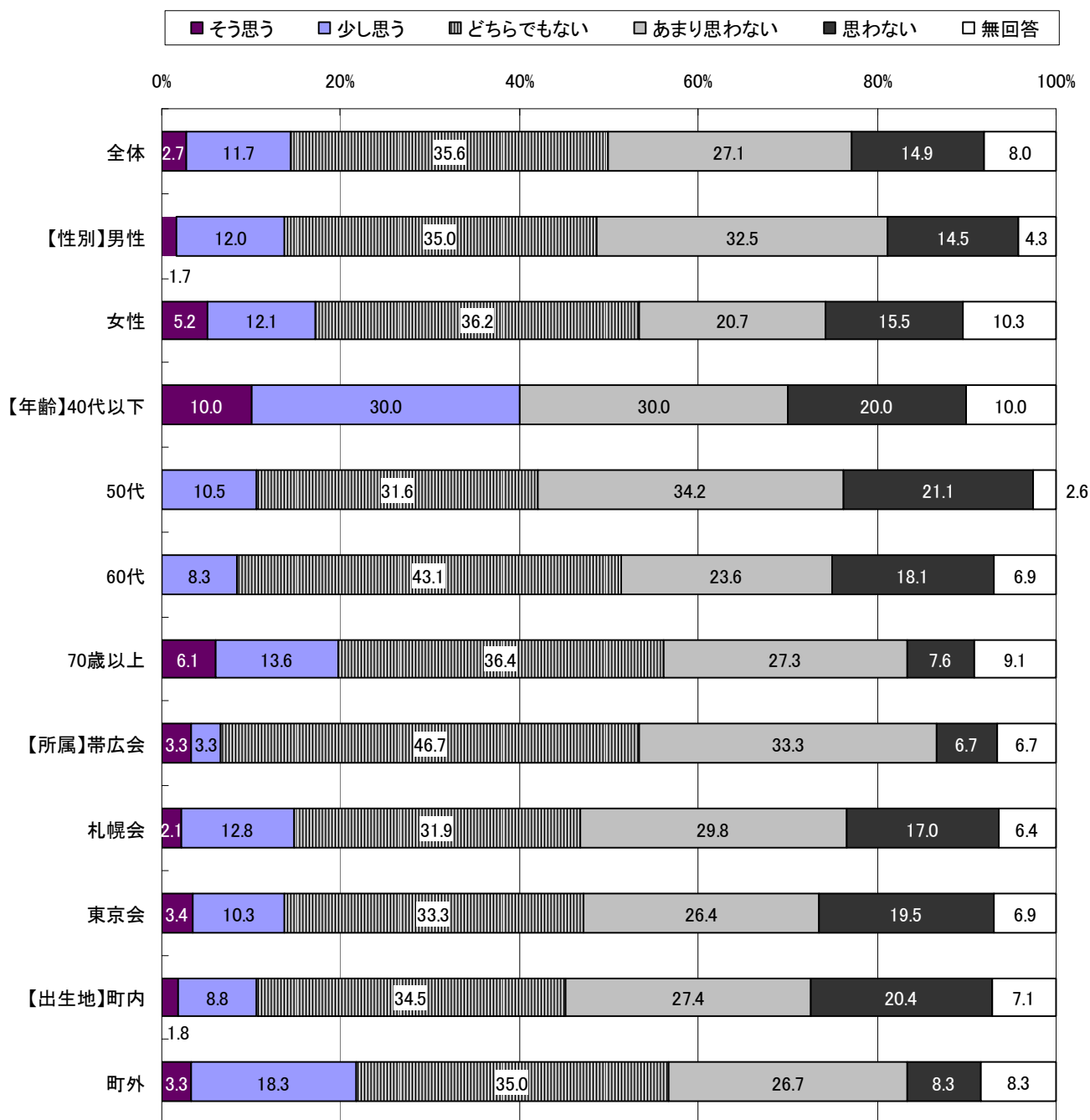
性別にみると、男性は「あまり思わない」が32.5%を占め、高くなっています。

年齢別にみると、40代以下は「どちらでもない」の回答がなく、肯定・否定がはっきりしており、「そう思う」「少し思う」ともに各年齢の中で最も高くなっています。

所属別にみると、帯広会は「どちらでもない」が46.7%を占め、高くなっています。

出生地別にみると、町内は「思わない」が20.4%を占め、町外に比べて高くなっています。

#### 4.活気のあるまちである



## 5. 便利なまちである

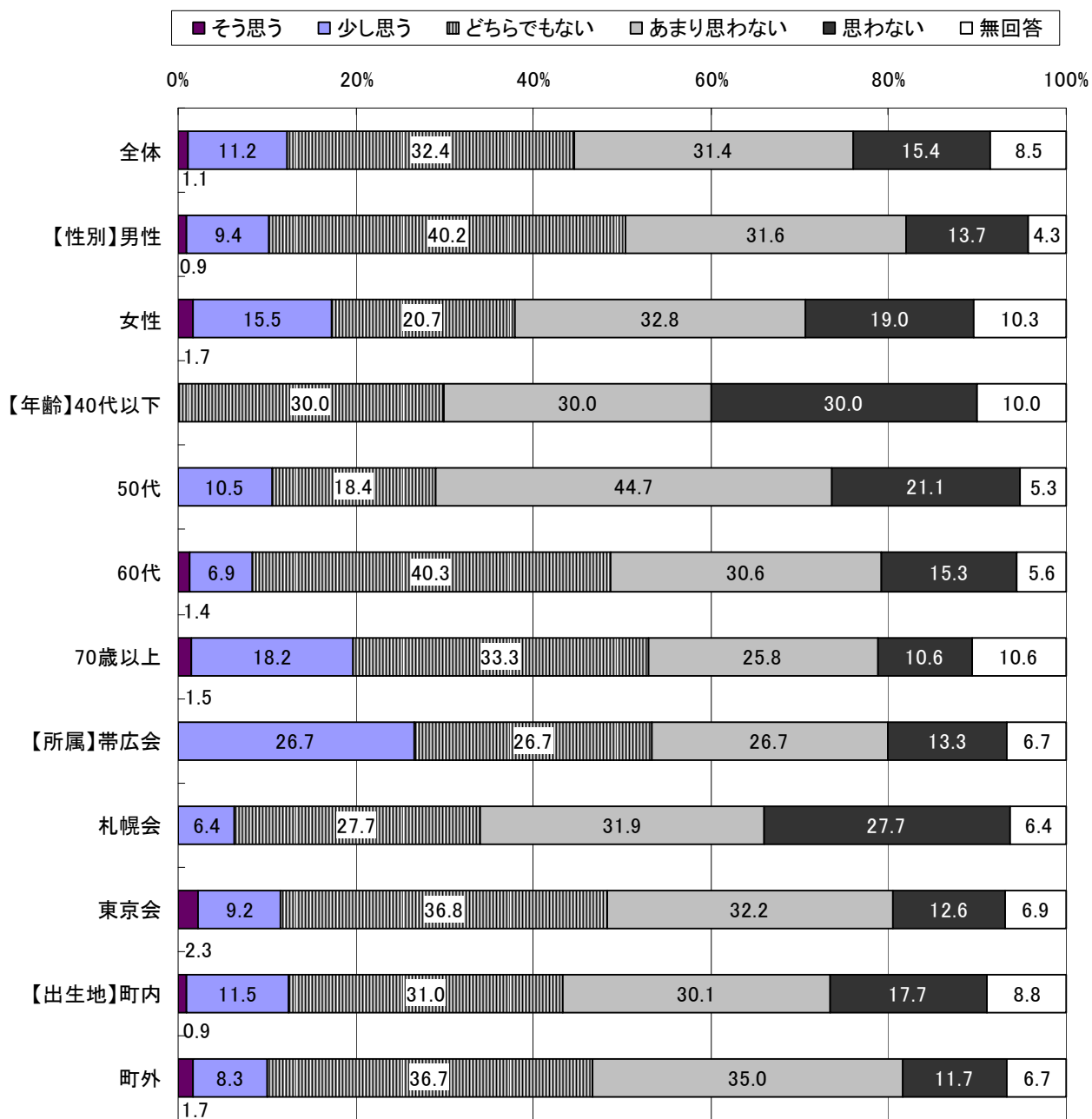
全体では「どちらでもない」が32.4%を占め、最も高くなっています。

性別にみると、男性は「どちらでもない」が40.2%を占め、高くなっています。

年齢別にみると、40代以下は「そう思う」「少し思う」という肯定的な回答がなく、「思わない」が30.0%を占め、高くなっています。

所属別にみると、帯広会は「少し思う」が26.7%と高い一方、札幌会は「思わない」が27.7%と高くなっています。

### 5. 便利なまちである



## 6. 個性（特色）のあるまちである

全体では「少し思う」が33.5%を占め、最も高くなっています。

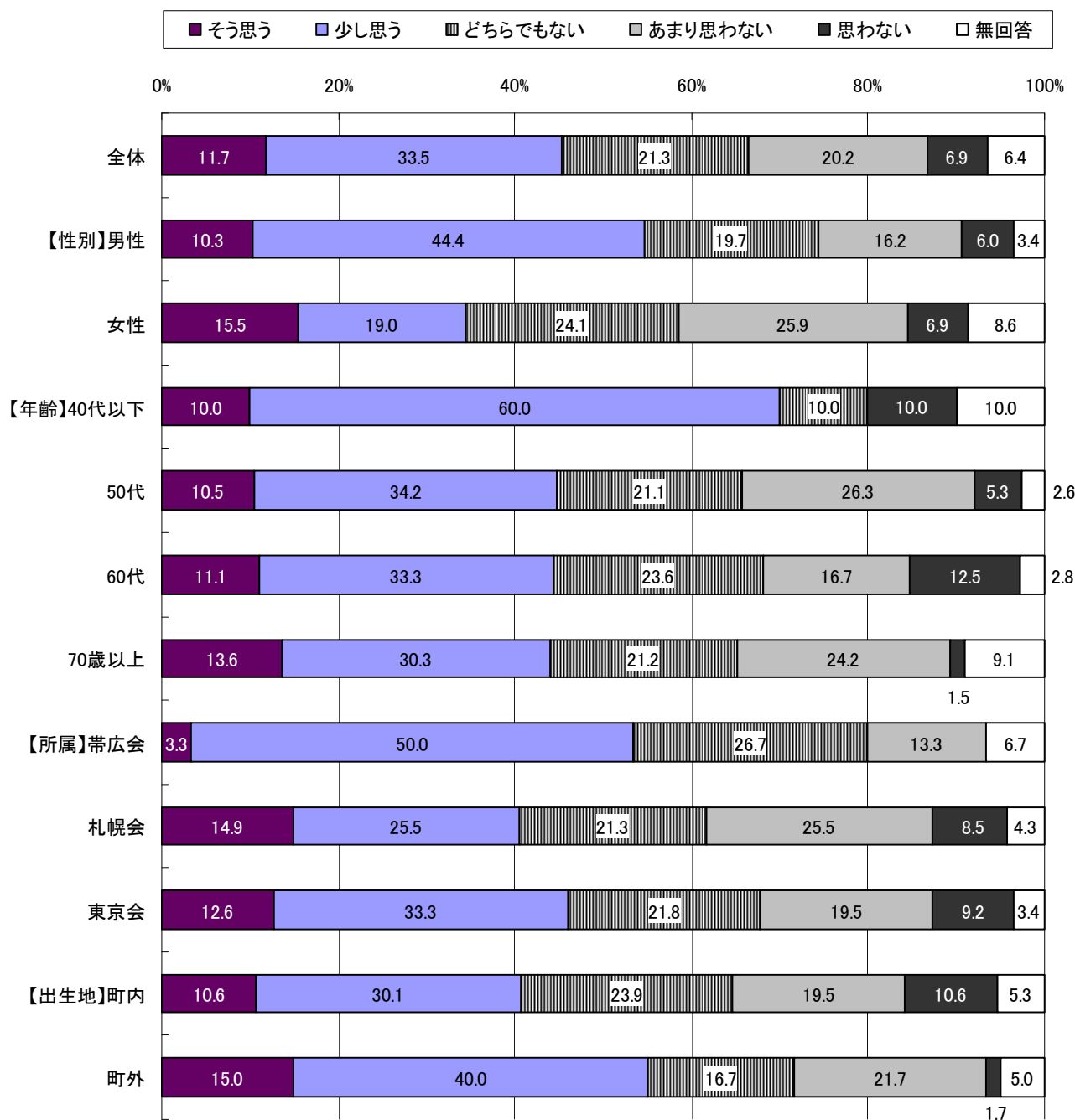
性別にみると、男性は「少し思う」が44.4%を占め、高くなっています。

年齢別にみると、40代以下は「少し思う」が60.0%を占め、高くなっています。

所属別にみると、帯広会は「少し思う」が50.0%と高く、「思わない」の回答はありません。

出生地別にみると、町外は「少し思う」が40.0%を占め、高くなっています。

6.個性(特色)のあるまちである



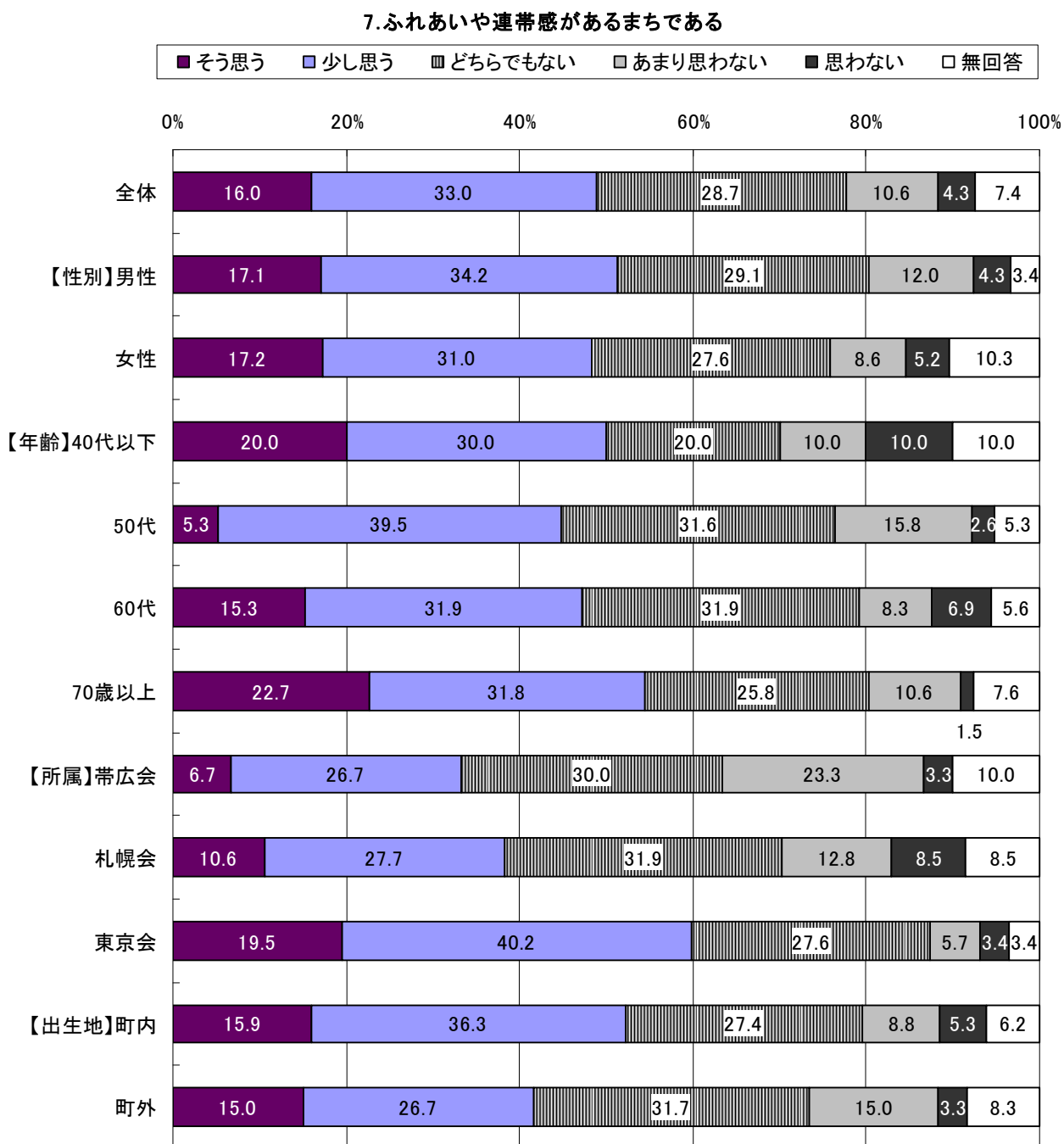


## 7. ふれあいや連帯感があるまちである

全体では「少し思う」が33.0%を占め、最も高くなっています。

所属別にみると、東京会は「そう思う」「少し思う」ともに各所属の中で最も高く、肯定的です。

出生地別にみると、町内は「少し思う」が36.3%を占め、町外に比べて高くなっています。



## 8. 住民としての誇りや郷土愛がある

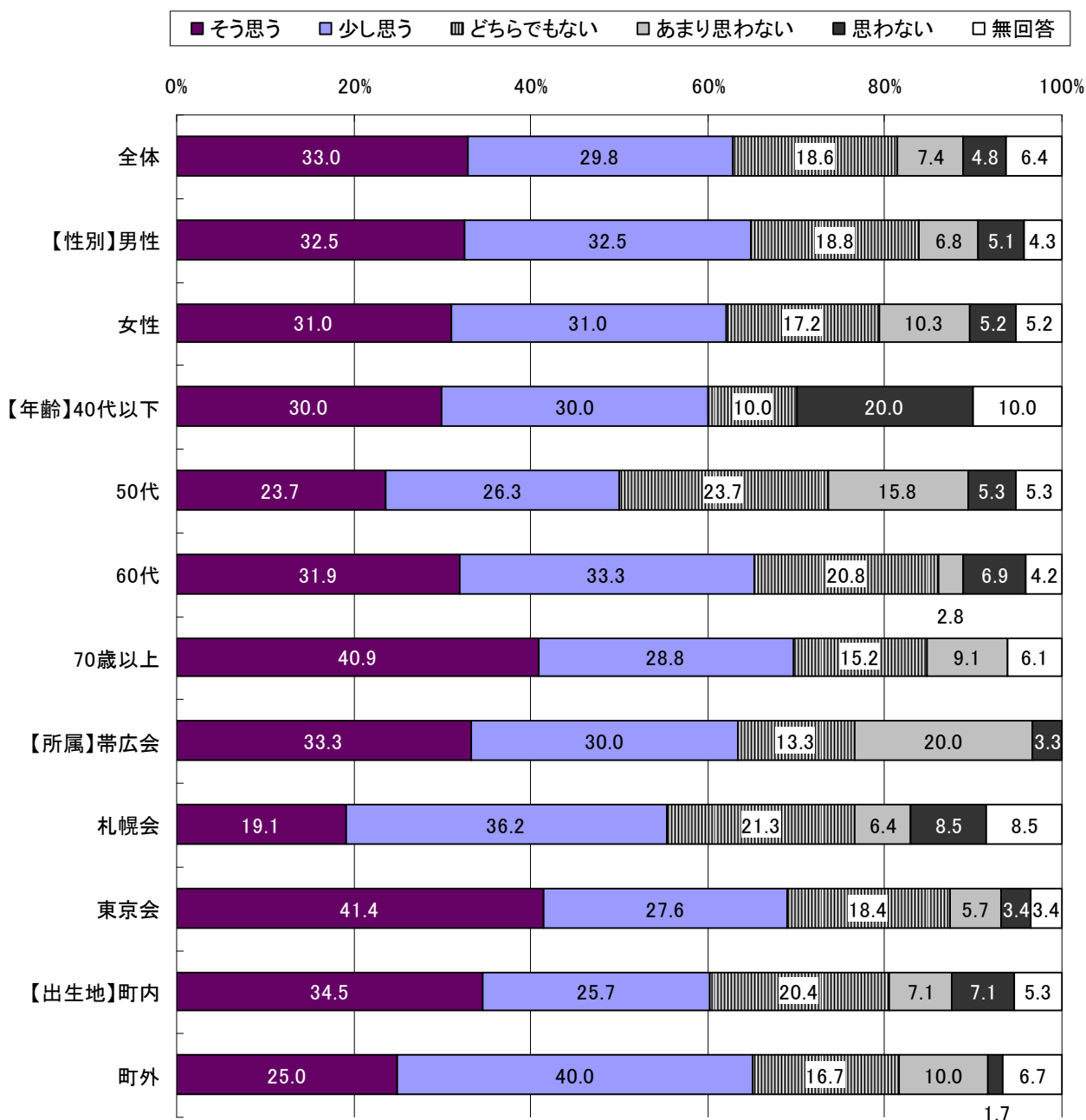
全体では「そう思う」が33.0%を占め、最も高くなっています。

年齢別にみると、40代以下は「思わない」が20.0%を占め、高くなっています。

所属別にみると、東京会は「そう思う」が41.4%を占め、高くなっています。帯広会は「あまり思わない」が20.0%を占め、高くなっています。

出生地別にみると、肯定的な回答の割合に大きな差はありませんが、町内は「そう思う」、町外は「少し思う」の割合が、それぞれ他方に比べて高くなっています。

8.住民としての誇りや郷土愛がある

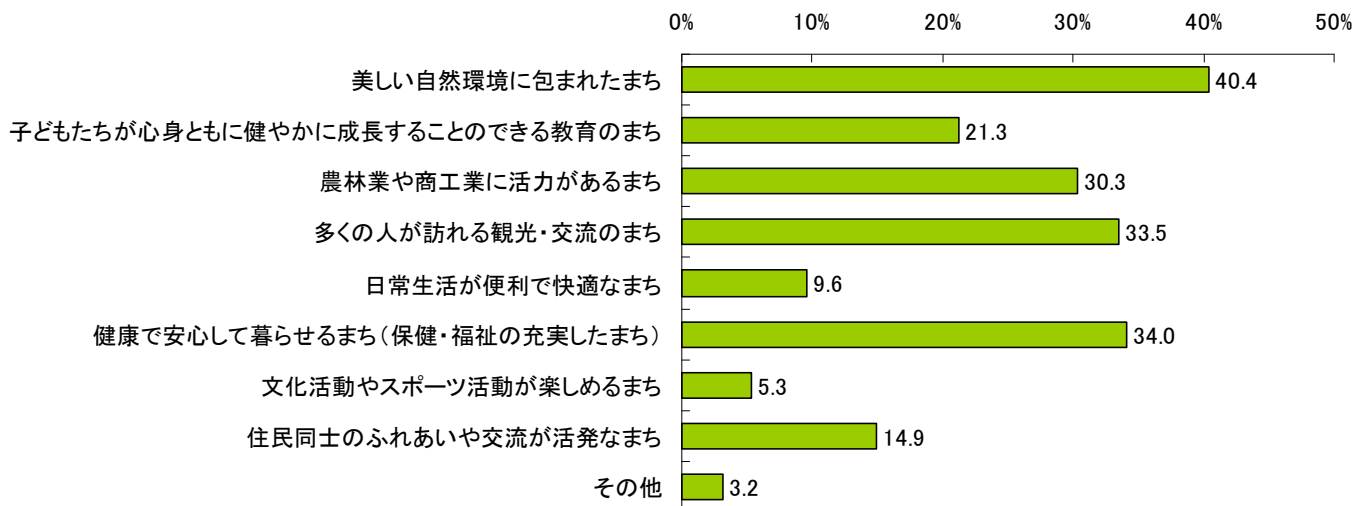


【問2】上士幌町の将来像

**上士幌町の将来に、どのような姿を望みますか。  
あなたの考えに近いものから2つまで選んで番号に○をつけてください。**

「美しい自然環境に包まれたまち」(40.4%)が最も高く、「健康で安心して暮らせるまち(保健・福祉の充実したまち)」(34.0%)と「多くの人が訪れる観光・交流のまち」(33.5%)が僅差で続きます。

問2 上士幌町の将来像(188人/2つまで)

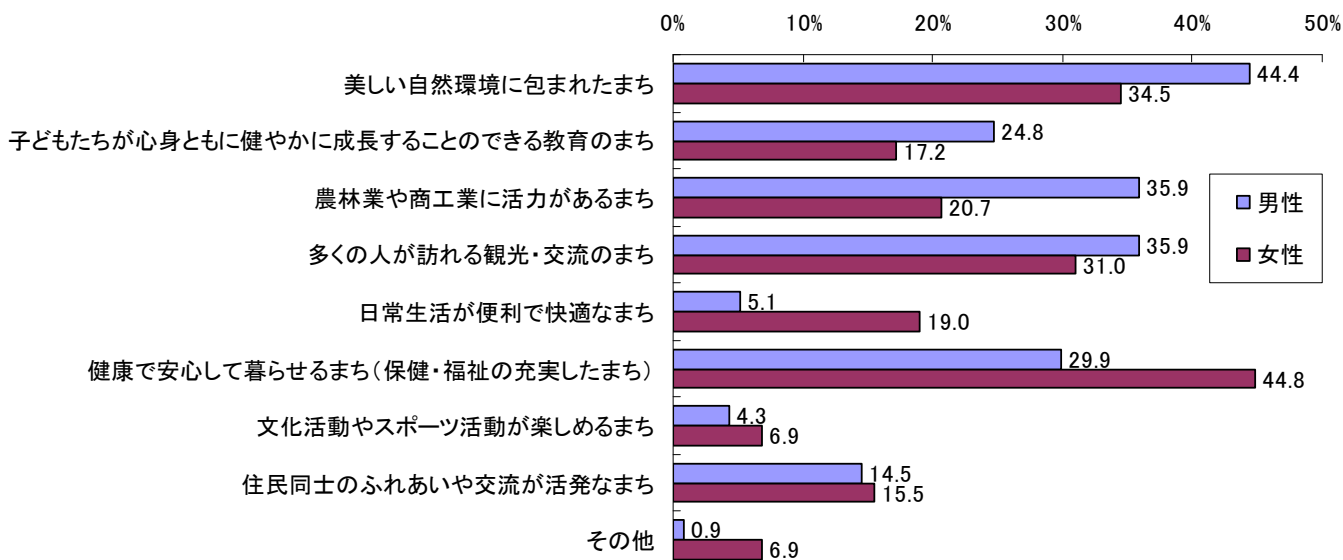


<「その他」の記述内容>

- ・上士幌に行く事が少ないのでよく解らない。
- ・いろいろな意味で頑張っているまちである。
- ・農林・商工業を包含する美しい自然環境の観光化、地域コミュニティの充実、青少年の健全育成と見守りと、各々をセットにした考え方。ひとつひとつの解決より、いくつかをセットにした理想や将来像を描いて向う方がやりやすい。

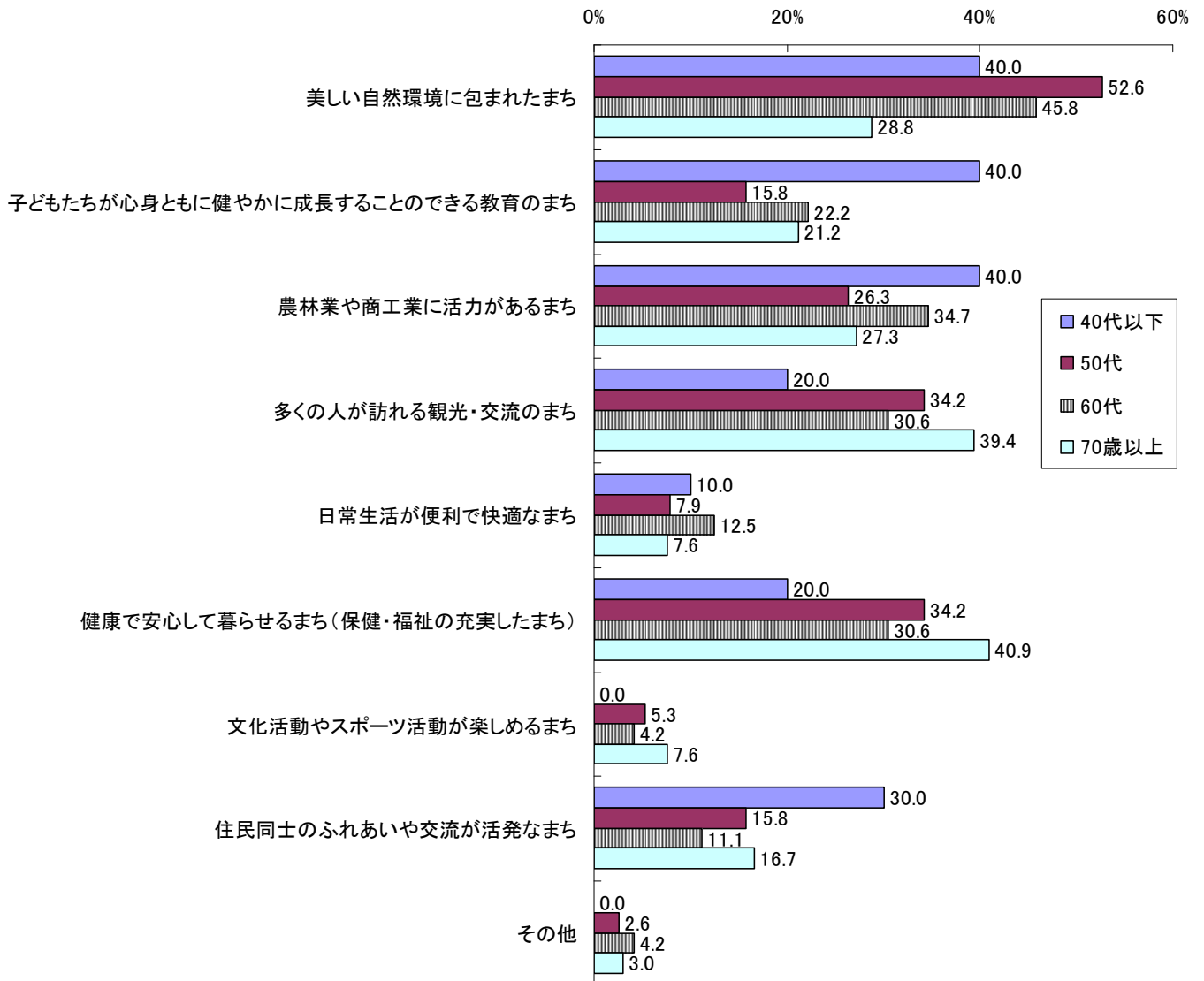
性別にみると、男性は「美しい自然環境に包まれたまち」、女性は「健康で安心して暮らせるまち(保健・福祉の充実したまち)」を第1位にあげています。

問2 上士幌町の将来像(性別)



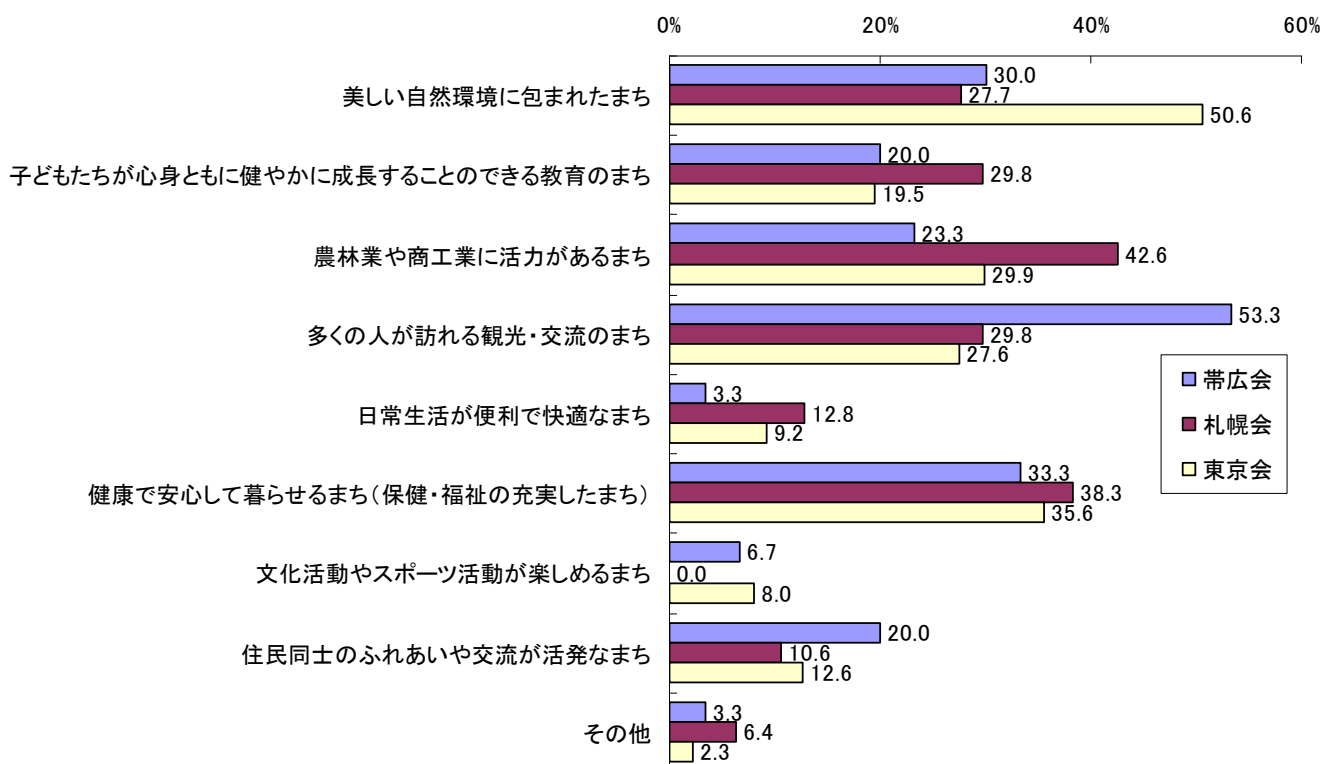
年齢別にみると、40代以下は「美しい自然環境に包まれたまち」と「子どもたちが心身ともに健やかに成長することのできる教育のまち」と「農林業や商工業に活力があるまち」（同率）、50代と60代は「美しい自然環境に包まれたまち」、70歳以上は「健康で安心して暮らせるまち（保健・福祉の充実したまち）」を第1位にあげています。

問2 上士幌町の将来像（年齢別）



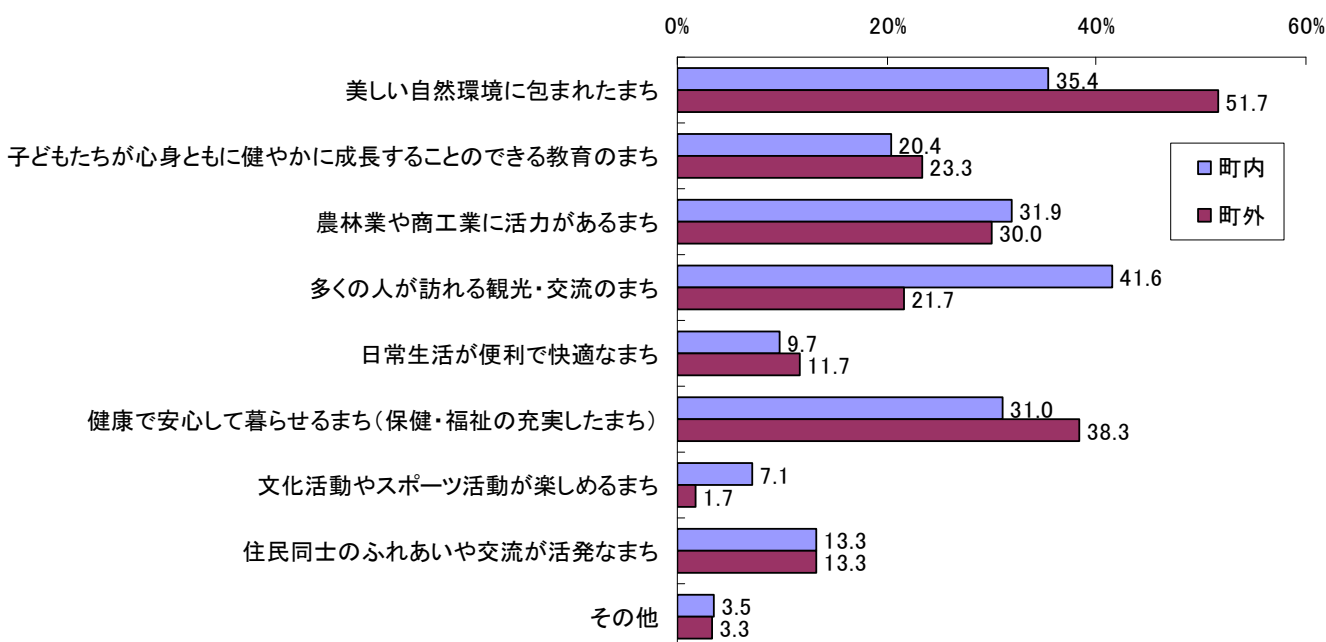
所属別にみると、帯広会は「多くの人が訪れる観光・交流のまち」、札幌会は「農林業や商工業に活力があるまち」、東京会は「美しい自然環境に包まれたまち」を第1位にあげています。

問2 上士幌町の将来像(所属別)



出生地別にみると、町内は「多くの人が訪れる観光・交流のまち」、町外は「美しい自然環境に包まれたまち」を第1位にあげています。

問2 上士幌町の将来像(出生地別)

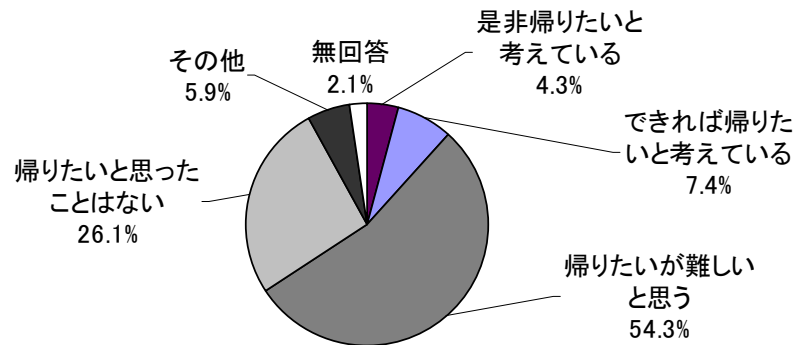


【問3】将来の定住意向

あなたは将来、上士幌町で過ごしたいと考えることがありますか。  
あなたの考えに近いものから1つだけ選んで番号に○をつけてください。

「帰りたいが難しいと思う」が 54.3%と最も高く、「帰りたいと思ったことはない」(26.1%)が続きます。

問3 将来の定住意向(188人)



<「その他」の記述内容>

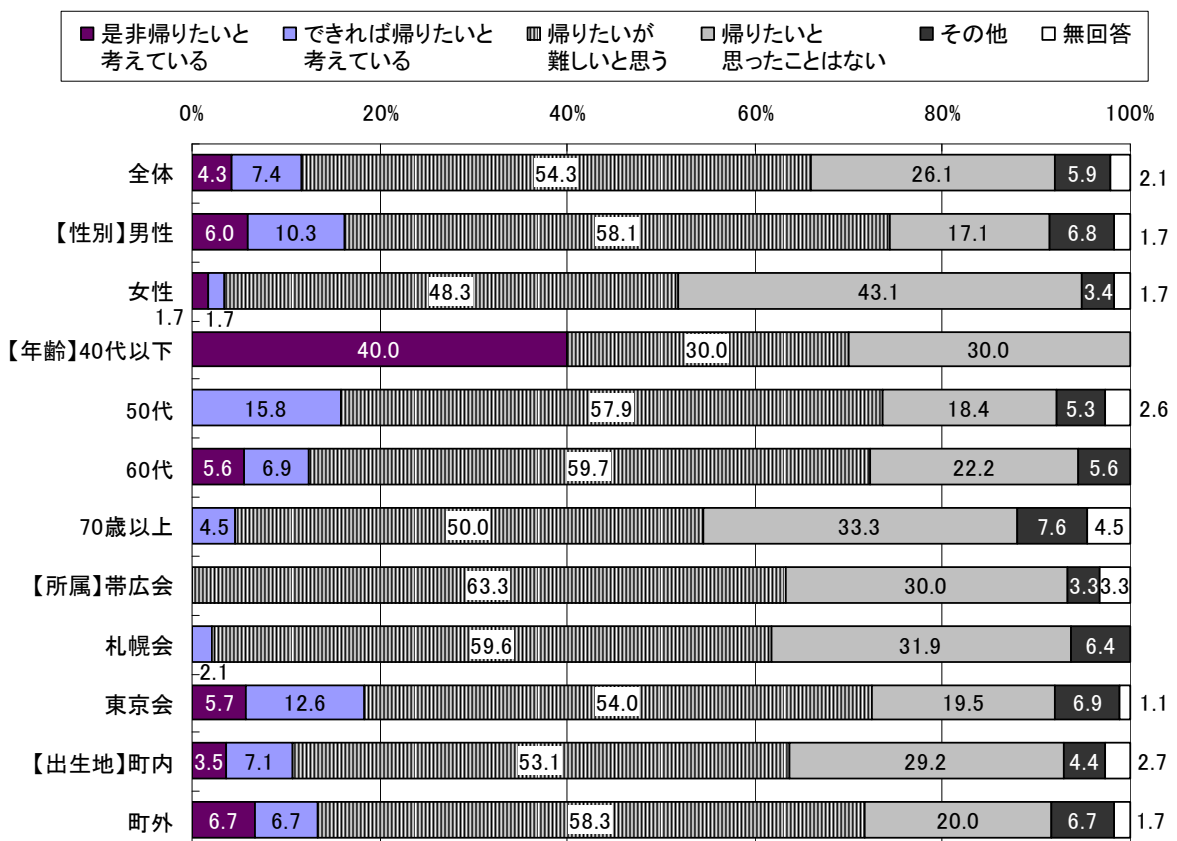
- ・町外に家があり、帰ることは難しい。(2) ・年齢と家族構成上、無理。
- ・母が亡くなる前は思っていたが、今は帰りたいと思っていない。
- ・あまり考えた事がない。 ・私の子どもが全員本州におり老後をどこで過ごすか考え中。
- ・ときどき短期間帰っても良いと思う。
- ・関東地方の梅雨や暑気を避け、6～9月まで…涼しい所で過したい。

性別にみると、「是非帰りたいと考えている」「できれば帰りたいと考えている」は男性の方が高くなっています。

年齢別にみると、「是非帰りたいと考えている」は40代以下で高くなっています。

所属別にみると、「是非帰りたいと考えている」「できれば帰りたいと考えている」は東京会で高くなっています。

問3 将来の定住意向(属性別)



【問4】上士幌町をアピールしていくうえで効果的だと思うこと

上士幌町の魅力を町外にアピールしていくうえで、効果的だと思うことや方法などありましたら、ご記入ください。

※（ ）の中の数は、複数回答があった場合の回答数です。

＜効果的だと思うこと＞

自然環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然の良さ/自然の美しさ/環境の良さ/自然風景/ぬかびら源泉郷地域までの景色（9）</li> <li>・ 水/大雪山麓の天然水（ぬかびら源泉郷から然別へ抜ける道の所々にある）（2）</li> <li>・ 大雪山（2）</li> <li>・ 広い草原で見る星空</li> <li>・ 冬の寒さ</li> <li>・ 山野草、スズラン、高山植物など</li> <li>・ 早春の白銀の山々、畑から上がる水蒸気、緑の中のキタキツネ、沼地に舞い下りる白鳥</li> <li>・ 水辺で採取した旨い蕨。根本を包丁でスパッと切ると水がピューッと吹き出す</li> <li>・ 昆虫採取（ができること）</li> </ul>
ぬかびら源泉郷、幌加、三股	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ぬかびら源泉郷（14）</li> <li>・ タウシュベツを含むアーチ橋群/JRの跡地など（5）</li> <li>・ 糠平湖（3）</li> <li>・ ぬかびら源泉郷スキー場（3）</li> <li>・ ぬかびら源泉郷地域の自然/大雪山国立公園の原生林・自然歩道（2）</li> <li>・ ぬかびら源泉郷と国道273ルート（色彩鮮やかな美しい紅葉の観賞スポットとして日本語、英語、中国語で紹介する）</li> <li>・ 幌加温泉</li> </ul>
熱気球	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熱気球（4）</li> </ul>
食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食の開発/農産物の加工品/（食に関する）特産品/商品開発（6）</li> <li>・ 農産物を利用した食材で美味しいメニュー</li> <li>・ ビート糖のお菓子やパン</li> <li>・ 野菜</li> <li>・ ナイタイ高原牧場ソフトクリーム（いろいろな種類をつくる）</li> </ul>
産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 酪農（4）</li> <li>・ 農業</li> <li>・ 林業</li> <li>・ 馬</li> <li>・ 観光地や農業関連のアピール（宮崎のような感じで）</li> </ul>
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四季を感じながら生活できること</li> <li>・ 上士幌の冬の生活＝「家に閉じ込められる」のイメージがあるので、冬季の生活の至便性や楽しみ方を実生活面から案内し、冬も素晴らしいことを発信する</li> <li>・ 広大な風景、農地、道路など、狭い土地空間で暮している都会人にとっては魅力的なところ</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ナイタイ高原牧場（6）</li> <li>・ 特産品づくり、商品化を行う（3）</li> <li>・ 福祉が充実していること</li> <li>・ 上士幌町地域の宝さがしの会が発行した「音更川の流送」</li> <li>・ 乳牛の放牧風景</li> <li>・ パークゴルフでチャンピオンのいる町であること</li> <li>・ 花粉症に効く町であること</li> <li>・ 斉藤一人さんの観音様</li> <li>・ 清水谷からぬかびら源泉郷、幌加、三股、然別への道、湖を「東洋のサンモリッツ」として宣伝</li> <li>・ 上士幌をすぐにイメージできるもの、あるいは娯楽施設</li> </ul>

<効果的だと思う方法>

<p>宣伝、 掲載</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テレビで放映（４）</li> <li>・ マスコミを利用する（３）</li> <li>・ ジンギスカン等食事の売り込み（２）</li> <li>・ 新聞に掲載（２）</li> <li>・ ラジオで放送/ラジオに出演し観光地や活動PRを兼ねて売り込む（２）</li> <li>・ 旅雑誌等に掲載（２）</li> <li>・ チビスロウに掲載</li> <li>・ 広報さっぽろに掲載</li> <li>・ イベントや観光の宣伝</li> <li>・ ナイタイ高原牧場を旅行会社に宣伝する。</li> <li>・ 町民が楽しく暮らしている行事を多く実施し、新聞、テレビに取り上げてもらう</li> </ul>
<p>ツアー、 企画</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旅行会社に売り込む/ひがし大雪博物館を見学コースに入れるようアピールする（４）</li> <li>・ 自然環境を生かした観光/大自然を体験できる場づくり（４）</li> <li>・ 農業体験、農業学校/農業、林業を見せる（させる）人との交流プログラム（３）</li> <li>・ ヘルスツーリズム</li> <li>・ 温泉、自然、古き昔の日本の国鉄橋梁など、自然を壊さない程度のネイチャーツアー</li> <li>・ 釣り、橋梁ツアー、近隣温泉街との共同企画で湯巡りスタンプカード</li> <li>・ 山村留学などをテコに町外からの子どもを受け入れる体制を整える</li> <li>・ 農林業生産者と都市生活者の体験型交流（滞在型居住による交流）</li> <li>・ 壮大なナイタイ高原牧場を目のあたりに美しい空気、人々のふれあい、自然の良さを子どもたちに経験させるツアー</li> <li>・ 都会の中高年を中心にナイタイ高原牧場のハイキング、町の温泉又東ヌプカウシの裏大雪の美しさを体験するコース、畑を２時間位歩き北海道の空気を味わえるコース</li> </ul>
<p>インターネ ット</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ かみしほろん.com（３）</li> <li>・ ホームページ/ツイッターやブログ（２）</li> <li>・ Googleなどの検索エンジンにヒットするようにする（２）</li> <li>・ 町内の様子、住民の声を反映し、自分も住みたくなるようなホームページに</li> <li>・ 画像に工夫を凝らし国内外に発信する</li> <li>・ 十勝毎日新聞社の「十勝めーる」の『上士幌めーる』</li> <li>・ 上士幌の情報が体系的に得られる環境にする</li> <li>・ 町を紹介したい、町を自慢したいと考えている人の声を紹介したいものがあれば、その写真または映像もつけてネットに載せる</li> </ul>
<p>町外での PR活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農産物などに手を加えて付加価値を高め、アンテナショップで売り出す（３）</li> <li>・ 物産展などの催事に積極的に参加する（２）</li> <li>・ 札幌駅の地下街コンコース（でPR）</li> <li>・ 首都圏の電車の中や駅構内に美しい航空写真のポスターを掲示する</li> </ul>
<p>イベントを 通じたPR</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベント等に力を入れる</li> <li>・ 冬期のスキー場の集客イベント（昭和30～40年にやっていた）</li> <li>・ バルーンフェスティバルをもっとアピールし、写真コンテスト、俳句コンテスト、絵画コンテスト等を通じて広くPRする</li> <li>・ 自然環境に恵まれた森林セラピー等のイベント開催</li> <li>・ 年に1～2回、食のイベント（野菜、肉など地元の物）</li> <li>・ 有名人を招いたナイタイ高原牧場一周マラソン大会</li> </ul>
<p>広域でPR</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広大な畑、牧場等、ある意味最も北海道らしい魅力にあふれる十勝として、関係町村一体となってPRする</li> <li>・ 十勝の他町村と連携し観光と農業、食材をアピールする</li> </ul>
<p>ふるさと会 の協力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふるさと会をはじめ上士幌町に住んでいた人のネットワークでPR活動を行う（２）</li> <li>・ ふるさと会の育成、多角的活用</li> <li>・ 旧国鉄士幌線アーチ橋梁群の写真に「わたしのふるさと上士幌」と刷りこんだ名刺台紙をふるさと会員の希望者に配布する</li> <li>・ 上士幌町を脱出して生活をしている人が喜んで参加できる札幌会や東京会にする</li> </ul>



施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅（４）</li> <li>・総合観光地図案内看板を設置する</li> <li>・町の中にそば店を10以上作る。そば打ち名人を養成する</li> <li>・高さ30～50mの気球のシンボル施設（中は観光物産販売場）</li> <li>・町営農場を作ってほしい</li> <li>・コンドミニアムなど建築、運営</li> <li>・神社側の高台に、山々が見わたせる50人位泊れるロジック付ホテル</li> <li>・広大な土地でのびのびと馬車や馬ソリを楽しめる施設を作る</li> <li>・町の中に皆が憩える公園、大きな木が何本かあり、イスがあり、冬は寒いのでお茶でも飲める所が公園の中にあると楽しい町になる</li> <li>・林の中に子どもの遊ぶロープで作ったアスレチックをつくる</li> </ul>
景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牛舎風、壁の色を合わせる、北欧風の町並みなどに統一する</li> </ul>
誘致	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致（ハイテク、薬品、研究施設など）（２）</li> <li>・ナイト高原牧場に生キャラメル（工場）の様な拠点を誘致する</li> <li>・樹脂成分を活かし、日本一の有機農薬工場を誘致する</li> <li>・韓流ドラマのロケ誘致</li> <li>・野外コンサートの誘致</li> <li>・Jリーグキャンプ地の誘致</li> <li>・上士幌を舞台にした映画テレビ制作</li> <li>・糠平湖氷上のアイスホッケー合宿の宣伝（昭和30～40年にやっていた）</li> </ul>
教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の町</li> <li>・高校入学を全国にアピールし募集する</li> <li>・小中高の一環教育の町として、学力アップ、安全、安心をうち出せる事も考えられる</li> <li>・学校教育を充実し、学力テスト日本一になる</li> </ul>
移住、 二地域居住	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町外の人に移住できると思うような方策（２）</li> <li>・ぬかびら源泉郷地域に別荘地を整備して全世界にアピールする</li> <li>・大都市からの別荘募集</li> <li>・（町外の人に）ネット上で土地を安く売る（市街地でも農地でも）</li> <li>・花粉症がない事をアピールして移住者を誘致する</li> </ul>
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色のある人材育成</li> <li>・熱気球クラブ、ゴルフクラブなどで有名人を輩出する（中学生や高校生の養成）</li> <li>・上士幌町から国会議員（道議）を出す</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉の町</li> <li>・住民が安心して暮せるまち（福祉・文化活動・住民同士の交流）</li> <li>・高齢者が生活しやすい環境（施設も含む）を整えることで、福祉と教育をテコに魅力を作っていく</li> <li>・町に働く場があること</li> <li>・風力発電、ソーラー対策</li> <li>・鮮烈で個性的な魅力の創出</li> <li>・自然を生かした居住空間づくり</li> <li>・馬車鉄道（夏）、馬ソリ鉄道（冬）で、不便さを逆手にとる</li> <li>・タウンコンセプトを明確にして、社会資源を生かす</li> <li>・現在の上士幌町の姿が町民にとって魅力的な町と感じていると思う。あえて町外にアピールすることはない</li> <li>・上士幌は、離れたところ、遠いところ、不便なところという感覚を持ってはいないか。今は距離感より中身がどうかを考える時代。その発想の転換から始めなければ、他に負けないまちづくりは望めない</li> <li>・ぬかびら源泉郷ではかつて「湖水祭り」で舞台を組み、踊りや演芸を披露し、帯広の「桜祭り」で「糠平観光音頭」を踊って宣伝し、花火・盆踊りも大々的に行い、観光客もその輪に入っていた</li> </ul>

【問5】まちづくりへの意見、提案

上士幌町のまちづくりを進めていくうえで、ご意見、ご提案がありましたら、ご記入ください。

※（ ）の中の数値は、複数回答があった場合の回答者数です。

区分	記述の内容	性別	年代
自然環境	何にしても自然は壊さないでほしい。	男性	40代以下
	私は上士幌が大好きで帰るといつも三股方面にドライブする。本当にすばらしい所、多くの人に見てもらいたい。	男性	60代
	ナイタイ高原牧場やぬかびら源泉郷スキー場の上から見る景色は絶景。	男性	40代以下
公営住宅	公営住宅の建て替えとバリアフリー化が必要。	男性	40代以下
	都会から移住した時に、公住の古さに閉口した。公住のリフォーム（ふれあいは除く。）が必要。	男性	40代以下
交通の便	何より交通の便を考える。	女性	70歳以上
	観光客が訪れやすい交通を含む利便性が必要。改善が望まれる。	男性	60代
	交通に不便を感じる。不便を感じると観光客は来ないのでは。	女性	70歳以上
	十勝全体に言えることだが交通の便が悪い。ひとりで旅行するにも動きづらい。まずはアクセスをしっかりしてほしい。	男性	70歳以上
	交通網が充実すれば、休日のはのんびり過ごしたい人が多いので、本州の感覚だと音更、帯広は通勤圏になる。	男性	60代
まちなみ	日本の街並みほど雑然として魅力のないところはない。欧州ではどんな小さな村でも、石だたみの道はあっても電柱、電線は地上にはない。	男性	60代
	街の中を流れる川があったらどうか。清潔感が増し生活感も変わると思う。工事費の問題があるが長期の計画で是非実現を。	(不明)	70歳以上
	見て美しい街には誰もが興味を示し感動する。花や緑で街全体をデコレートしてみるのはいかがでしょうか。建物も新築・改築は一定のルールを置き、長期計画で街の雰囲気住民の総意で決める理想の街にしていく。	男性	50代
子育て支援	高校生までの医療費を無料に。	男性	50代
	子育てをしている若い世代に魅力のあるまち。教育の充実や特色、保育の負担軽減など様々な支援策が目に見えてわかるように。	男性	60代
	子どもに焦点を当てた安心安全なまちづくり。	男性	70歳以上
教育	生涯学習のまちづくりに注力してはどうか。	男性	60代
	町一番の立派な建物が役場の庁舎というのは問題。維持費を教育へまわす。教育で何か日本一（例えばスポーツだとカーリングとか）をめざす。	男性	40代以下
	教育の町として「意欲・創意・思いやりの心」を育てる。意欲は家庭で信頼感、自立感を育て、小学校で活動性を育てる。スポーツ等活動の活発化が小学校の重要課題。創意は幼少時代に受ける自然からの刺激によって「気づく力」が芽生えること。自然とのふれあいや農業体験のプロセスで「気づく力」を育てる。思いやりの心は親や教師が思いやりの心をもって子どもと接する。	男性	70歳以上
	小・中・高の一貫教育を。	男性	50代
	北海道電力やホクレンやJA等と共同出資で、中高一貫の全寮制の進学校またはユニークな学科（酪農、写真、ロボット等）の学校をつくる。生徒は全世界から集める。	男性	50代
	小・中・（高）の給食の無料化。	男性	50代
	小・中・高の一貫教育を。	男性	50代
スポーツ	ボウリング場の設置。（町民全員が健康維持を運営方針に、21世紀ボウリング資金の利用、ギネスに挑戦しアピール、マラソンボウリング、上士幌カップ、プロボウラーの大会実施。）	男性	50代
	健康づくりのためのプールを作る。	男性	50代

区分	記述の内容	性別	年代
福祉	静かな町でいいから、赤ちゃんから老人まで、保育所から介護施設まで、一つの建物の中で生活できるところを。地元にも雇用も増える。上士幌出身者から1口いくらかで寄附を募れば実家が上士幌にある人など応えてくれると思う。	(不明)	70歳以上
	お年寄りを商店街まで送迎するバス。(無料でなくても。)	男性	50代
	福祉に対して十勝で一番熱心と聞いた。住みやすく、高齢者にとってはうれしい。何が一番誇れる町なのかを考えてほしい。	女性	50代
農業	温暖化を見据え、長期的な新苗育成、東北地方の作物の導入。	女性	60代
	農業・酪農などの希望者を支援する体制を作る。	男性	60代
	漢方薬の材料をつくる。(朝鮮人参など。)	男性	60代
	酪農に関する何かを、全国へアピールして行く事を考えていくしかないのではないか。	男性	50代
	上士幌町の経済基盤は、やはり農産物と酪農かと思う。日本の食料自給率が低い中で、食料供給基地としての北海道は重要。農業、酪農のさらなる発展を。	男性	60代
	役場、農協双方の指導部の方々と地域の若い人達とがお互い研究し合っ て、基幹産業である農業酪農の発展に努めてほしい。農村が発展すれば、 街も豊かになる。	男性	70歳以上
	学校・企業・商店などで地元の牛乳を消費できないか。	男性	60代
	農家という生産者の感覚でなく、企業としてのビジネス感覚をもち、他 社の製品より売れる高付加価値商品を作るという重要性に気付く。農畜 産物の生産技術と加工技術、そして売るためのマーケティングのチーム ワークが重要。生産者の視点だけでなく、消費者のニーズを把握してシ ステムを考える。農業IT化も重要な武器になる。	男性	70歳以上
	酪農などのブランド化。	男性	40代以下
	酪農家としての誇りを大切に、農畜産物のブランド化を確立していく。 牛乳を使って、自家製のチーズ、ヨーグルト、アイスクリームを作っ ていく積み重ねから、大手メーカーにないブランド力が育っていく。農畜 産物の付加価値を高めてブランド化するとともに、新しい販路として直 売所が繁盛すれば農産物の輸出に弾みがつく。野菜や果実、畜産品の一 部、米も視野に入ってくる。	男性	70歳以上
林業に多くを望めないとすれば、基幹である農業の継続性を強化する以 外にない。後継者の計画的育成、特にその配偶者の獲得に、各ふるさと 会の組織的な支援体制を確立する。	男性	70歳以上	
林業	昭和25年頃、清水谷方面から大量の木材がパルプ材等として搬出され ていた。林業のまちづくりで、町民の生活向上に役立つ産業が必要。自 然環境を保ち、両立を願う。	男性	70歳以上
	しいたけ作りなど、きのこ作りに適した気候ではないか。	女性	60代
商業	活気ある店がない。	女性	50代
	商店街活性化のためには、日曜定休は良くない。客足を帯広、音更方面 に向かわせてしまうのでは。	男性	60代
	上士幌の町で買い物した人々のためのポイント制。(2倍・3倍も設定。)	女性	60代
観光	多くの自然環境をPRする。/大自然を背景とした四季を全国的にアピ ールする。/大雪山国立公園のアピール。/雄大な風景の観光資源を特に 首都圏へPRしてほしい。(4)	男性	60代ほか
	ナイト高原牧場を活かす。/ナイト高原牧場から春は桜、秋は紅葉 を眺め、ぬかびら源泉郷につなげる。(2)	男性	60代ほか
	ぬかびら源泉郷の温泉の利用法、活用を考える。/ぬかびら源泉郷のP R。(2)	男性	70歳以上 ほか
	富良野や美瑛の丘のように、農地、牧場などの広い景色そのものを売り 物にする。	男性	60代
	ぬかびら源泉郷の見なおし。	女性	50代

区分	記述の内容	性別	年代
観光	観光客の視点で、観光資源の整備を進める。	男性	40代以下
	クラス会をぬかびら源泉郷で受け入れる。年輩の方の交通手段がないばかりにみんな十勝川につれて行かれるのは残念。	(不明)	70歳以上
	法事後ぬかびら源泉郷で食事会をしようとしたが、昼食の用意と送迎ができないので十勝川に変更したことがある。	男性	60代
	ぬかびら源泉郷地域を整備し、三国峠を通るルートや然別のルートを増やせると良い。(観光客の呼び寄せ。)	女性	50代
	帯広から上士幌へ向かう車中でいつも思うが、車を止めてゆっくりする場所がない。旅行客は、ガイドブックの場所は訪れるが、地域の人ともっと触れあいたいと思う方もいる。	女性	40代以下
	アーチ橋群は最高の観光資源だが地図を見て探しても探せない。素人が探せるよう、地域住民自身が案内板や道を整備する必要がある。	男性	50代
	ぬかびら源泉郷の食事が今一つ。山菜など出たが、十勝の人なら食べあきていると思う。町も古い感じがした。	女性	50代
	ぬかびら源泉郷が綺麗ではない。地域住民での掃除はされているだろうがもっと体系的(計画的)に活動される必要がある。もっと花も必要。	男性	50代
	観光地と農業の結びつきを深める。	女性	60代
	温泉つき山菜とりツアー。	女性	50代
	東京周辺では日帰りツアーが盛ん。少しの土産付きとか、食べ物のおいしさ、自然と3つ位そろると人が集まる。東京→帯広→ぬかびら源泉郷→三股コースで、二泊三日だけでも十分に満足できるコースができる。	女性	60代
	一泊や食事、体験ができるスポット(糠平ダム、温泉、スキー場、ナイタイ高原牧場、熱気球など)を充実し、通過のみの町ではなく、停車する町になる様に。花粉症対策ツアー、熱気球体験ツアー、山村留学児童の受け入れ等どうなったか。	女性	60代
	自然環境を生かしたぬかびら源泉郷、緑豊かな花の町づくりに取り組み、ガーデンアイランド北海道、花と緑のネットワーク等、十勝の観光ルートに加わってはどうか。(十勝～富良野～旭川の花街道)	男性	60代
	三股地区のルピナス群生地を3～5か所程にして人を集める。期間限定でも集客力はある。まずは話題を全国に発信する事からはじめる。	男性	60代
	温泉を利用した施設の整備。	男性	60代
	観光バスの経由地として、総合リゾートの様なものをつくる。「物産館」「ラーメン館」「ファッション館」「みやげ館」「ホテル宿泊施設」「温泉、源泉(タンクローリーで運搬)」「宴会設備(芸能人の配置)」「歴史館」など。	男性	50代
	国立公園を指定解除し、リゾート地とする。夏はテニスコート、キャンプ場の充実、ペンション、売り別荘など民間を入れて開発する。冬はスキー場の充実。帯広近辺のスキー場に負けないキャンペーンを実施。東京からの集客活動(航空+温泉+スキー場)を行う。	男性	50代
	観光目的者の車中泊場所(ぬかびら源泉郷周辺)の開設。	男性	60代
	割安な貸別荘などがあれば、夏は避暑、冬はスキーなどを楽しめる。	男性	60代
	夕日を見るポイント、朝日がかがやくポイント。なにしろ一番がほしい。熊にあえるかもしれないポイント。ワクワクする。	女性	60代
	都会の人達に別荘を貸す、温泉に安く泊まれるようにする、花粉症の人達に来てもらうなどの努力はすばらしいと思う。田舎の良さを、田舎らしく出せばよいと思う。	女性	60代
	ナイタイ高原牧場、アーチ橋群、ぬかびら源泉郷等に友人を連れて何度も訪問しているが、年々悪くなっている。特にナイタイ高原牧場のレストランの対応(対応後読書)、環境(テントウ虫がいっぱい)、ソフトクリーム(数年前の半分位のボリューム)は良くない。アーチ橋群、ナイタイ高原牧場を見せてぬかびら源泉郷に泊ってもらうコースに力を入れてほしい。	男性	70歳以上
	自然動物園をつくる。	男性	60代
以前亀の子温泉があって好評だったが、今は看板だけになっている。	男性	60代	



区分	記述の内容	性別	年代
交流	関東圏の中規模程度の地方自治体と姉妹提携し、小中学生を対象に、雄大な自然観光と農業・酪農に関連する課外授業を展開し、ふれあい活動を推進する。(夏・冬休み中のホームステイなど。)当初は小規模程度で実施、その経過を踏まえ提携自治体を拡大しつつ、将来的に地域外の住民に対して積極的に誘致・定着を図り町の発展につなげる。	男性	70歳以上
イベント	年に1度でも大きな十勝規模のイベントを。気球、しんむら牧場ミルクジャム、大規模草地(ナイタイ高原牧場)のコラボレーションなど特徴を生かしたものを。	女性	50代
	個性的イベントの創設。(町と農協の共生、協同強化。)	男性	60代
	春夏秋冬のイベントを。春は花粉症対策、夏は避暑地(虫取り、カブトムシ)、秋は収穫祭(イワナ、ポテト、トウキビ、牛乳)、冬は歩くスキーツアー、シャンシャン馬橇。高齢者に考えてもらう。	男性	60代
	マラソンやサイクリング等スポーツイベントの誘致。十勝三股～三国峠～層雲峡。ナイタイ高原牧場。(伝染病の関係で難しいかも。)	女性	50代
	自然を生かしたイベント(「ツール・ド上士幌」など)や全国が注目するイベントを企画する。	男性	60代
	各地区の秋に行なわれる産業祭の中で面白いと思うのは浦幌の産業祭りが一番。上士幌町も負けない様に企画して開催してほしい。	女性	70歳以上
道の駅	ぬかびら源泉郷の辺に道の駅があると、バスは停まると思われる。	女性	50代
	観光客が素通りして行くような町にはしてほしい。美しい風景の場所、買いたい物産、食べたい食品と道の駅のようなものが必要では。	男性	60代
	然別より上士幌、ぬかびら源泉郷を利用、廻る計画をし、上士幌の道の駅を全国に宣伝する。	男性	70歳以上
	ぬかびら源泉郷の閉鎖したホテルを町で取り壊し、道の駅(家族風呂と足湯温泉併設)を建設しては。シカ肉弁当(タウシュベツ橋の写真入り包み紙)+お茶(東大雪名水)の販売など。「鉄道資料館」「ひがし大雪博物館」「ひがし大雪ガイドセンター」を一緒にして大きくなくていいので暖かいログハウス風の道の駅にしてみても。上士幌町の自然の写真を道の駅で紹介し、旅館にも展示し季節ごとに写真を変えていく。	女性	40代以下
特産品	上士幌ならではの食文化を創造する。中札内のえだ豆のように〇〇料理というくくりで売り出す。	男性	50代
	飲料水の販売。	男性	60代
	家庭料理のコンテスト等、食品加工のノウハウ等を集める。	男性	70歳以上
	商工等の活性化には、上士幌町にある原材料を用いた、特色のある製品を考案した者に、「上士幌町産業奨励賞」(賞状と賞品)を。受賞者が、それを広告宣伝に有効に活用できるようにする。	男性	70歳以上
	上士幌市街にも、何か珍しく特徴のあるものが2～3ほしい。上士幌限定の物(おいしい食べ物)とか。	女性	70歳以上
	上士幌特産漬物物の販売。	男性	60代
	大地の恵のネット販売。冷凍・乾燥にしたもの(半調理で)を出荷すると売れる。暑い東京の夏は電子レンジ調理が主流。	女性	60代
	都市への生産物展示販売の強化。	女性	50代
	じゃがいもはもちろん、乳製品を生かした名産品を。	男性	50代
	農作物を商品化して販売する事を、町全体で考えて具体化する。	男性	60代
	農産物など良いものが沢山あるので、手を加えて付加価値を高め、アンテナショップ的な所で売る。	女性	50代
	上士幌の農産物を生かした食品を上士幌の特産物として広める。	女性	50代
	食卓用のハシ。(幸運のハシ渡し。)十勝石の名品を考える。(石を持つと、意思が強くなる。)	男性	50代
	野球のバットをつくる。	男性	60代
産業経済全般	工場の誘致、雇用の拡大。/若い人が働く職場がほしい。/IT企業の誘致。/大型工場の誘致。(8)	女性	50代ほか
	農林業、商工業の活性化により、町の衰退を防止する。(4)	男性	60代ほか

区分	記述の内容	性別	年代
産業経済全般	ぬかびら源泉郷の温泉を利用し、日本の一番寒いところで、南の海の魚（ウナギ、カニ、エビ）の養殖をすると話題になる。	男性	60代
	農林業・商工業が活力あるものにするには、町が先頭に立ちプロジェクトチームをつくり官民一体にならないと、次の時代に繋がらない。	男性	50代
	バイオマス発電、太陽光発電等を道東に1つか2つ作るとすれば、上士幌町が適地では。北電に売電しなくても東京で買ってくれる。発電所を1つ誘致すれば固定資産税、従業員等、新たな魅力ができる。	(不明)	60代
	農業は国策でも重要な要素のひとつであり、上士幌町が有する豊富な資源（農地、土壌、水、森林、国立公園）を効果的に活用していく方策を見出し、戦略的に産業を育成する。	男性	60代
行財政運営	花粉のことで上士幌も少し有名になった。もう少し力を入れて最後まで実行してほしい。お金を大事に使ってほしい。死んだ金ではなく生きた金の使い道、行政に活かしてほしい。目先のことではなく、長く先の先まで、また新しい文化歴史が生れるような物をつくってほしい。	男性	60代
	財源が不足している中で、実行性を考慮し、余った予算のある課は翌年に繰越し、報償制度を採用する。無駄をなくす行政を。	男性	60代
やる気	町づくりに積極的に取り組んでいる姿勢を報道関係で見る。職員の志気を高め、町民が安心できる町づくりに取り組んでほしい。	男性	70歳以上
	もっと町民全体が、色々な面でやる気を起こしてほしい。	男性	60代
	こうやろう、ああやろうと提案がないのか。あっても摘み取るのか。元気なやる気のある人はいないのか。	(不明)	70歳以上
移住、定住	閉鎖したホテルを、大都会の各自治体で持て余している光の当たらない部分の人を対象としたコロニー（福祉施設）に利用する。全国各自治体との契約で利用者を引き受ける。各自治体は、相当の費用を負担してでも委託したいと思っている。地域は、夏季の労働として受け入れられる場合もある。冬季の働く場の確保ができる。	男性	70歳以上
	ふれあいビレッジ上士幌、幼稚園、小学校、中学校と老人介護施設を一体化して、全国からその施設に入ってもらう様にする。	男性	50代
	介護施設、病院を充実させ、リタイアした団塊の世代をターゲットに、第二の人生スタートの地を提供し、全国から人を呼び集める。	男性	40代以下
	国は人口が東京に集中すると予測しているが、花を育て、野菜が作れる百坪程度の畑付きの断熱デザイン住宅が1,500万前後で入手できるとなると、東京や関西から移住を望む人も出てくるのでは。東京や関西と違う役割を見つけて上士幌の人口減少を食い止める方策を考えるべき。	女性	70歳以上
	家族、友達に上士幌は良い町、休日遊びに行こうか（高速も安くなったし）、移住して老後楽しみたいねと、言われる様な町づくりを。	男性	60代
	別荘地を分譲する。（市街地ではなく。）	男性	50代
	高齢者の滞在型別荘を充実させる。	男性	50代
	町営住宅だけでなく、アパートなど若い人が住みやすい住宅を。	女性	40代以下
	息子が横浜マリノスに属しているの、親の郷土としてPRしてはどうか。何回か息子も帰省している。	男性	50代
町出身者、ふるさと会	各学校の同窓会、クラス会、各種団体等の親睦会の開催に協力（名簿作成、案内状の発送、場所の提供、パソコンプリンター等の使用）し、町内でできるだけ開催してもらおう。そこで町内の物品をPRし、購入または知人に送れるようにする。（10%程度の助成をする等）	男性	60代
	ふるさと会の中堅からアドバイザーを採用し、他の町にあって上士幌町にないものを検証し、あった方がよいものを導入する。	男性	40代以下
	上士幌を故郷とする人は一世から三世の時代になっており、その人脈を生かせば、教育文化、産業、企業誘致、雇用に意外なヒントが生れるかも知れない。	(不明)	(不明)
	地方（町外）で活躍している人が大勢いる筈なので、その人達が喜んでふるさと会に出席し上士幌町の状況を交換できる様にする。現況では限られた人達のみ集合、交換会で発展性がない。もっと開放的かつ活発な集合になる様配慮を。現在の会合には余り魅力が感じられない。	男性	70歳以上

区分	記述の内容	性別	年代
町の中心部に集中	住民に必要なインフラを中心部に集中化し、高齢化しても生活できるようにする。国、道に働きかけて、IT技術や資金等をもらえないか。	男性	50代
	ぬかびら源泉郷方面に向う国道の沿線に官庁、病院等が集中しているのに、町の中心軸が旧鉄道方面に建て替えられただけ。動線がバラバラなため、住民の生活が利便性に欠ける。土幌町のように町の中心軸をうまく活かし人・物・金の流れをつくる。	男性	60代
	町内を活性化するため、町の中心部に住んでもらう。	(不明)	(不明)
まちづくり全般	まず住み良いまちづくりを。	女性	50代
	子どもや老いた方々が安心して生活できる町を。	女性	60代
	自然も生かした住みよい町となるように。	女性	70歳以上
	スポーツ、音楽、シネマ、芸術等何かのジャンルに絞って、若い発想で推進させる。大きな予算は必要なく、若者をひきつけるような発想と経営者感覚での見方が必要。	男性	60代
	古きよきものは残し、若者が生きていける町にしてほしい。	女性	50代
	子育て、職場、定年後の居場所、全てが有機的に結びついて、みんなが生きがいを共有し、全ての人が大切にされる町。	男性	60代
	地域コミュニティの充実を進めることで、高齢者の思考力と経験を通じた提案が上土幌町を素晴らしい町へと導くパワーになる。古きよき時代の思い出話の中に良いヒントがかくされている。傾聴してほしい。	女性	60代
	町として何か目玉を作ることが大切。	男性	60代
	内外の識者の意見を聞きながら、良いと思うことを少しずつ取り入れ、まちづくりの観点で長期的に取り組んでいったらどうか。この際の要点は、町内の若い人を巻き込んで、外の人を力借りるしかけが必要。	男性	50代
	その他	人口をもう少し多くしてほしい。/人口を増やす方法はないものか。(2)	男性
思いやりのある温い町民気質と風土を培うことが、将来の上土幌町の決め手になる。		(不明)	(不明)
上土幌の生いたちから現在まで、どこが町として魅力があったのか、もう少し原点に戻って調査した中から選び考えてみるのも良いと思う。		男性	70歳以上
長期的視野で、山村留学による町外の子どもの受け入れや福祉、介護事業等を充実し「安心して生活できる」「伸び伸びとした人間生活の場」としての魅力を高めていく。子どもと老人が安心して暮らして、青年・中年の調和ある地域経済をつくる。		男性	40代以下
町内全組織(団体)で、将来展望(企画会議等)について総合力を発揮してほしい。		男性	70歳以上
素晴らしい個人のガーデンを無料で見ることができるよう、町を花で飾るプロモーションをしては。コスモス街道、ひまわり街道など花の道を住民主体で作ってはどうか。		男性	50代
上土幌の目玉(農産物、熱気球)を発掘し、全国に発信する。		男性	60代
町の広報活動を一層活かせ、新しい動きを積極的にPRする。		男性	70歳以上
あまり手を入れすぎると、ふるさと感がなくなる。変わりすぎて、なつかしさが無く、まるで別の町に思えた。きれいになるのはいいが、どこまでかが難しい。		女性	50代
帰郷した時に、まちが変わりすぎている。特に学校は思い出の場所だが懐かしさが無い。昔のかたちを残してほしい。		男性	60代
上土幌は車がないと生活できない。老後の生活を考えた場合は、病院がない、スーパーなどあまり品ぞろいできてないなど、生活上の不安を感じる。十勝へ帰ろうと思った時、住みたいとは決して思わない。		女性	60代
元気な上土幌であってほしい。子ども育成の町、道外の引きこもりや登校拒否などでお困りの人達のお助けの町、空気も食べ物も美味しく自然もいっぱい感謝される町になってほしい。		女性	60代
町おこしで一番重要なのは担当者の既成概念の突破。発想の大転換を。		男性	60代
人口対策、上土幌町の特産品、名所のアピール、国からの補助金対策。土幌に負けるなという気持ちを。昔は上土幌の方が活気があった。		男性	50代
土幌線が廃止、線路が撤去された当時、その跡地に堆肥場などを考えたが、机上の空論になっていると気付いた。やはりこういう事は上土幌の現状を充分踏まえた上で考えるべきと。		男性	70歳以上
今でも自然環境のすばらしさ、それにも増して人情、人間との関わりに感謝している。息子も最近は大変な上土幌のファンである。		男性	60代
後期高齢者医療制度や介護の保険料を安く。	男性	50代	
ふるさと納税の方法等が不明。郷土のためにできることを行いたい。	男性	50代	





